

第5章 施策評価書（基本施策の進行管理）

1 施策評価書の見方

第7次南知多町総合計画 施策評価書

基本目標 2 地元をにぎわすしごとづくり

基本施策 2-1 豊かな海と産物を活かした水産業

1. 現状と課題

本町の水産業は、豊かな漁場や良好な漁港といった強みから、愛知県内最大の水揚げ量、県内最多の漁業従事者を擁しています。また、水産業は本町の重要な観光資源でもあり、町民にとっても南知多町の象徴的な存在です。一方で、漁場の環境悪化による漁獲量減少や燃料費高騰などのコスト高、食生活の変化による消費量減少など、経営環境が悪化し、従事者の高齢化や後継者不足が続いています。

町が考える現状と課題・目指すべき将来像を記載し、その将来像を実現するための主な取り組みをまとめています。

2. 目指すべき将来像

経営が安定し、水産業従事者や就業希望者にとって魅力ある水産業を目指します。また、若者をはじめとした町民にとっても、観光客にとっても、美味しい海の幸が本町の魅力であり続け、本町産業全体の価値創出の源泉であり続けることを目指します。

3. 将来像の実現に向けて

- ・水産資源の持続可能性を確保するため、漁場の造成や水質の改善などの環境保全、栽培漁業や資源管理型漁業を推進します。
- ・新型コロナウイルスの拡大による消費の減少に対応するため、インターネットによる販売などの取り組みを支援します。
- ・水産業者等の設備の近代化支援により、生産性向上や、水産業従事者の就労環境の改善、衛生管理の強化を図ります。
- ・現代の生活スタイルに適した加工品、市場に出荷しても安い魚種の有効活用、輸出力の強化など、販売の安定化と高付加価値化を図ります。

4. 主な予算事業

事業名	部署名	事業概要	R4決算 (千円)	R5予算 (千円)	推進 方針※	実施 計画	事業 評価書
1 漁業振興対策事業費	産業振興課	漁業生産基盤の向上や漁村・漁場環境の保全ならびに漁業経営の安定化を図ります	478,501	27,176	A		
2 栽培漁業振興対策事業費	産業振興課	「獲る漁業」から「育てる漁業」への推進を図り、漁業経営の安定化を図ります	3,764	3,764	A		
3 漁港一般管理費	建設課	町管理漁港である4漁港(大井、日間賀、山海、豊丘)の一般事務を実施します	614	679			P104
4 港湾一般管理費	建設課	町管理港湾である内海港の一般事務を実施します	252	296			
5 港湾施設維持管理費	建設課	町管理港湾の施設維持・修繕等を実施します	5,152	8,612	A		P111
6							
7							
8							
9							
10							

※事業の推進方針は、前年度の事業評価書に基づいて記載しています。(A…拡充 B…継続 C…縮小 D…廃止)

関連する主な事業とその費用を記載しています。

5. 地域との協働に関する取組み状況

- マルシェや市などに参加し、地元の水産物を楽しみながら購入する(個人)
- 地元の水産物の魅力(おいしさやレシピなど)を口コミやSNSで情報発信する(個人・事業者)
- 旬の地元水産物をメニューや品揃えに取り入れる(個人・事業者)
- 浜清掃に参加(個人・事業者)、漁具を海に落とさないよう管理する(事業者)など

6. 町民意識調査によるニーズ等

町民意識調査モニターによる自由記述のうち具体的な要望等のみを抜粋(町民意識調査ニーズに対する回答は別の資料で公表しています)

①豊浜地区に関して、新規に漁師になりたい若い人が住みやすい手頃な賃貸住宅又はアパートがないので、他所から雇い入れたくても雇いにくいです。

②この町の魅力の大きな部分である海産物。観光客も県民も南知多の海産物は「目的」として十分な資源です。漁業収入はこの町の財政の大きな位置づけであるから、漁場を豊かにすることや人材確保、そして広報は全力で投資してください。

③魚の種苗放流はとても意義のある事業だと思いますが、漁業関係者に「成長乱獲」の意識はあるのかと疑問に思う時があります。もう2～3年待てば大きくなるであろう小さな魚まで早獲り競争のように根こそぎ水揚げしては資源管理も何もないどころか一度に処理もできないので家畜の肥料にするしかないという現状、構造的な欠陥を感じます。漁船ごとに漁獲枠を設け、それに満たなかった漁師には町が補填をする…というのは難しいとは思いますがそれくらいしか解決策は無いような気がします。

④衰退していく水産業では生活で生き抜くための教育が必要だと思います。就職についての消去法で漁業に従事するのは危険で衰退に拍車がかかるので水産の教育を取り入れることで地元で就職する環境を整えたらどうかと思います。

⑤小女子・蛸・イカ・蟹等魚が獲れなくなっている。難しいが、原因究明や対策など研究する場、町民(漁師)が学習する場を設けられないか？

⑥最近の漁業不振は、温暖化に一因があり、今のうちに取れるだけ獲る漁法では町はつぶれる。温暖化の原因調査など水産試験場の協力なども得て広報活動を強める。福島原発の汚水の放流などは町として「反対」の意思表示をお願いしたい。(昨年と同様)


⑦高知県黒潮町のように、地域の美味しい水産物と地域の野菜をコラボさせて、南知多の味を防災缶詰にできないでしょうか。

町民意識調査で施策に対する自由意見を住民のニーズとして記載しています。

7. 管理指標(pt) 町民意識調査による満足度

現状値(R2)	R3		R4		R5		R6		目標値(R6)
84	80	↘	87	↗	80	↘			95

8. 評価委員会の総合評価

評価	評価に係るコメント(評価委員会で出た意見への回答は別資料で公表しています)
R3	
 一部努力を要するが概ね順調	・漁獲量が減っている。育てる漁業を進めて若者が漁業に携われるようにしてほしい ・ニーズに合っていると思うが課題がたくさんあるので解決に向けて推進してほしい ・行政の協働への姿勢は理解できたが、よく見えるようにすると良い
R4	評価対象外
R5	
R6	

町民意識調査による満足度の進捗について、計画見直しまでの4年間分記載しています。

評価委員会で評価した結果、その評価に係るコメントや要望等の意見をまとめています。
 ※評価委員会とは、モニター等で構成された評価委員に基本施策の評価をしてもらう場のこと
 で、実施計画書・施策評価書・事業評価書を参考に評価を行います。

基本施策 1-1 地域で大切にしている子育て環境

1. 現状と課題

本町の強みとして、自然が豊かでのびのびと遊べる環境がある一方で、出生数は減少傾向にあり、子育て環境整備に向けた取り組みが必要となっています。

2. 目指すべき将来像

母子の健康が保持・増進され、豊かな自然の中で子どもが遊び、子育てと仕事が両立できる、子育て世代に選ばれるまちを目指します。

3. 将来像の実現に向けて

- ・子育て環境は各家庭の問題と捉えるのではなく、子育てを応援するため地域全体で以下のような取り組みを行っていきます。
- ・乳幼児健診、訪問指導、育児相談等切れ目のない子育て支援サービスの充実を図ります。
- ・保育所再配置を検討し、適正な児童数での保育所運営、公園環境の維持管理、歩道の整備等を進めます。
- ・子どもやひとり親などの医療費や不妊に悩む夫婦の一般不妊治療費を助成します。
- ・子育て支援事業や一時保育、延長保育等の保育サービスなど、子育てと仕事の両立支援を充実させるとともに、ファミリー・サポート・センター等の新しい事業についてはニーズを考慮し実施を検討するなど、町として子育てを応援するため実践的な取り組みを行っていきます。

4. 主な予算事業

事業名	部署名	事業概要	R4決算 (千円)	R5予算 (千円)	推進 方針※	実施 計画	事業 評価書
1 子ども医療費	保険年金室	子ども医療費及び一般不妊治療費の助成を行います	51,971	52,254	B	P20	P169
2 児童福祉一般管理費	健康子育て室	児童委員の活動費、子育て支援金、おうちで子育て応援金、保育所運営委員活動費、子ども・子育て支援事業計画策定業務及び児童虐待防止に関する経費です	13,258	8,245	B	P22	P189
3 保育所一般管理費	健康子育て室	保育サービスの充実を図ります	129,123	137,917	B		P191
4 子育て支援センター・どんぐり園事業費	健康子育て室	子育て支援センター(おひさま)、どんぐり園の充実を図ります	3,230	3,774	B		P192
5 放課後児童健全育成事業費	健康子育て室	放課後児童クラブの充実を図ります	8,399	10,240	A	P23	P193
6 ファミリー・サポート・センター事業費	健康子育て室	ファミリーサポートセンターを立上げ、会員の登録、マッチングを図ります	97	105	A	P24	P194
7 保育所環境整備費	健康子育て室	保育環境の整備・改善を図るため、保育所の改修工事等を行います	7,141	0	B		P195
8 予防接種事業費	健康子育て室	乳幼児から高齢者まで健康と生命を守る予防接種事業を推進します	39,976	33,661	B	P25	P200
9 母子保健事業費	健康子育て室	子どもを安心して生み育てることができる環境づくりに努めます	12,150	13,525	A	P26	P203
10 家庭教育推進事業費	社会教育課	家庭教育推進事業、青少年健全育成事業を行い、子どもたちの健全育成に努めます	1,191	1,233	B		P222

※事業の推進方針は、前年度の事業評価書に基づいて記載しています。(A…拡充 B…継続 C…縮小 D…廃止)

5. 地域との協働に関する取組み状況

- 子育て世代同士が交流したり、協力し合う活動に積極的に参加する。
- 近所の子どもへの声掛けや見守りをする。
- 違う地区同士の親子が関わり、連携できる機会を増やす。

6. 町民意識調査によるニーズ等

町民意識調査モニターによる自由記述のうち具体的な要望等のみを抜粋(町民意識調査ニーズに対する回答は別の資料で公表しています)

- ①減っていく子供に合わせて縮小する合理化ばかり進めて、充実しているとは思えない。具体的な施策として、ファミリーサポートを即日簡易に利用できるよう仕組みを見直すことや、保育所や学童の預かり時間の拡大、そのための職員採用の要件緩和(保育士免許なし・子育て経験者、福祉大学などの学生アルバイト補助員など)を図る。主要産業である観光産業や農業、漁業(共働き)は土日祝が繁忙期であるため、土日預かりができる外部団体への委託や募集をすること。小学校高学年の子どもが両親の帰宅まで過ごせる場所の整備。
- ②少子化は必然なためどうすることもできないのでそこばかりにスポットを当てるのは一旦やめる。必ずしも子育てに特化せず町民みんなが安心して楽しく過ごせるような環境整備を目指す。木を見て森を見ずをやらない。
- ③実際に娘が第二子を里帰り出産をする時に、年子の第一子0歳児を保育所に預けたかったが、内海保育所には枠がなく預けられなかった。目指す将来像に、「子育てと仕事が両立できるまち、0歳児から3歳児の自宅子育て支援金」とあるが、矛盾していると思う。そうならば、0歳児の受け入れ枠を増やす方が先のように思う。
- ④政府が子供家庭庁を発足させたけど、お金をばら撒くだけでは解決は難しく、大切なものはお金は最小限にして地域が年寄りから子供まで集まる機会を増やしていくのがいいと思います。
- ⑤基本施策1-1~1-2で提案。本町の最大課題は、人口増である。その点から子育て、小中学校の教育環境である。この1~2年小中学校の再編が協議されてきた。今後の環境変化や問題点を検討していくことが必要である。現在、公共施設の再配置が議論されているが、将来的には保育園も対象となり問題となる。「安心して子供を育てられる南知多」のPRキャンペーンが必要。
- ⑥基本施策1-1~1-2で提案。地域ごとに小中一貫校を作り先進教育を。
- ⑦町内出生率が10年程で著しく低下している。町内はもちろん、若い世代の町外からの移住者を増やすことが必要であり、住む家、仕事斡旋などトータル的にフォローできる取り組みが必要であると感じる。
- ⑧昨年の意識調査の役場からの回答で「出生数の減少は出産世代の若者や世帯の転出が原因」とあったが、転入を増やすための施策をお願いしたい。子どもをこれから持とう、または子どもを持ったばかりの若年夫婦がUターンして親の近くに家を建てようとした場合、ネックになるのは、働きながら子どもを預けやすいか、仕事がある半田や東海市知多市大府市、名古屋まで通える環境が整っているかどうか。だが南知多では朝に子どもを預ける開始時間は知多半島内の市町村と比較して遅く、閉所時間は早い。これでは半田以北の職場には間に合わない。知多半島に仕事を持っていても、住む場所の候補に南知多を選んでもらえない。今はオンラインで仕事もできるため、都会に住まなくても仕事ができる人が増えており、そういった層の獲得も総合計画に書いてあるが、在宅勤務では保育園や学童に預けられない。目的と実際の計画に整合性が無いのではないかと。そもそも、子育て世帯が何を求めているのかニーズを聞いてほしい。ニーズを把握しないままでは、出生数減少の対策が適切かどうかを審議できない。子育て世帯のニーズを把握するためのアンケートという、遡ると「第二期子ども・子育て支援事業計画(R2~R6)」の策定時のアンケートがある。このアンケートでは、仕事と子育てが両立できるような支援の充実を求める声が高かった。結果が出ていた。預け先の数や定員数、預け時間、預けやすさの拡大が求められる結果であったが、この「第二期子ども・子育て支援事業計画(R2~R6)」はどう進めてきたのか。計画とその実行性は毎年見直されているのか。(そもそも、この「第二期子ども・子育て支援事業計画」自体が南知多のホームページを探しても見つけれない。) 支援の物理量が少ないために、働きたい預けたいのに諦めている家庭が周りに複数いる。子育てする親にとっては仕事を辞めたり変えたりせねばならない切実な問題であることをおわかりいただきたい。支援の物理量を増やすのが無理だとしても、どうしたら今の物理量または減らした物理量で親たちが支援を受けられるのか、保護者のニーズを聞いて工夫できる余地は無いかを、保護者と町が一体となって考える場が欲しい。
- ⑨祖父母に頼れる家庭や専業主婦層だけが南知多で子育てできる状況を強化しては、転入者増や共働き世帯の獲得は難しいし、これから活躍したい若い女性は益々南知多を選ばなくなってしまふ。おうち子育て応援金など専業主婦層を大切にすることはもちろん大切であるが、女性が活躍できる環境整備も同時に進めてほしい。若年女性の減少による少母化が問題の本質であり、子育て環境整備よりも、仕事や収入の安定を求める声が増加している昨今では、子育て支援をしても人口減少は食い止められない。それでも子育て環境の整備や働く女性支援は必要がある。「女性たちに意欲が無い」ではなく「女性たちが意欲的に働ける環境を用意できていない」「若者たちが意欲を下方修正せざるを得ない環境である」と認識しなければいけないと思う。若者たちが活躍できる環境、働き続けられるよう、多様な働き方を支えるための支援を用意することが急務と考える。
- ⑩人口減少、出生数減少に併せて行政サービスはおのずとサイズダウンコストカットせねばならず、町の取り組みは評価できる。その中で、子育て支援金や18歳までの医療費助成など、南知多は頑張っていたと思うし、保育園は保育士の配置にゆとりがあり目の行き届く質の高い保育をしていただいていると思う。こうした南知多の良い部分を外に向けてアピールしていくことも必要ではないかと思う。

7. 管理指標 (pt) 町民意識調査による満足度

現状値 (R2)	R3	R4	R5	R6	目標値 (R6)
89	78 ↘	77 ↘	76 ↘		95

8. 評価委員会の総合評価

評価	評価に係るコメント(評価委員会で出た意見への回答は別資料で公表しています)
R3	
■ ■ 一部努力を要するが概ね順調	<ul style="list-style-type: none"> ・土日の預け先があることで働き方の選択肢が増えて住みやすいまちになる ・園児が少ないのできめ細かな保育ができています ・産前産後ケアを充実してほしい
R4	
■ ■ 一部努力を要するが概ね順調	<ul style="list-style-type: none"> ・シングルマザーや非正規雇用の親への支援などソフト面への予算の拡充をしてほしい ・保育士の不足について、募集しても集まらない現状を保護者にも説明してほうがいい ・ファミリー・サポート・センター立ち上げに向け動いている点は評価できる。制度についての周知と父母の関心を高める協力をお願いしていくといい。
R5	
	評価対象外
R6	

基本施策 1-2 次代の担い手を育む教育環境

1. 現状と課題

町内の小中学校はすべて小規模学校であり、きめ細やかな教育指導が行われています。しかし、集団の中で学び合いを通じて、判断力や社会性を身に付け、自分を信じる力をつけていくためには、一定規模の児童生徒の集団を確保することが必要であり、それを踏まえた適正な学校規模を図っていく必要があります。

2. 目指すべき将来像

学校、家庭、地域が連携して「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」からなる「生きる力」、「自己肯定力」を育むことができる学校環境を整え、本町の次代を担う人材の育成を目指します。

3. 将来像の実現に向けて

- ・実現したい教育の姿・環境を見据え、「南知多町立小中学校適正規模・適正配置基本計画」に沿って、学校の適正配置、規模の適正化を進めていきます。
- ・老朽化状況の把握、各学校施設の改築、長寿命化を行っていくための、長寿命化計画を策定します。
- ・外国語や、プログラミング教育など、次代に必要な教育カリキュラムの作成、実施を進めます。
- ・学校のICT環境の整備とICTを活用した学習活動の充実を進めます。
- ・児童生徒が地域に愛着を持つために、農・漁業体験をはじめとした自然の中での学習、伝統行事等への参加、地元の食材を使った給食等、郷土学習の拡充に取り組みます。
- ・児童生徒が本町の未来を考える機会の創出を推進します。

4. 主な予算事業

事業名	部署名	事業概要	R4決算 (千円)	R5予算 (千円)	推進 方針※	実施 計画	事業 評価書
1 教育振興一般管理費	学校教育課	学校教育の充実を図るため、教育振興に係る事業を実施します	70,946	56,662	B		P210
2 小学校一般管理費	学校教育課	小学校施設の適切な維持管理に努めます	82,509	69,569	B	P27	P212
3 教育振興一般管理費	学校教育課	小学校教育の充実を図るため、教育振興に係る事業を実施します	70,946	18,987	B	P28	P210
4 中学校一般管理費	学校教育課	中学校施設の適切な維持管理に努めます	42,794	82,025	A	P29	P215
5 中学校再編事業費	学校教育課	中学校再編に係る整備等を行います	62,689	26,479	C	P30	P216
6 教育振興一般管理費	学校教育課	中学校教育の充実を図るため、教育振興に係る事業を実施します	70,946	16,836	B	P31	P210
7 学校給食運営費	学校給食センター	学校給食を安全に安定的に提供します	57,237	64,467	B		P233
8 賄材料費	学校給食センター	学校給食に伴う賄材料及び非常食を購入します	63,173	59,191	B	P34	P234
9							
10							

※事業の推進方針は、前年度の事業評価書に基づいて記載しています。(A…拡充 B…継続 C…縮小 D…廃止)

5. 地域との協働に関する取組み状況

- 登下校の見守り、学習支援、行事・部活動支援などの学校支援ボランティア。
- 地元産業の体験等、子どもに体験学習の機会を提供すること。

6. 町民意識調査によるニーズ等


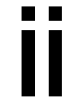
町民意識調査モニターによる自由記述のうち具体的な要望等のみを抜粋(町民意識調査ニーズに対する回答は別の資料で公表しています)

- ①環境学習など子どもたちに提供したいが、子育て真っ最中で子育て環境に余裕がなく、行う事が困難である。また、無償のマンパワーには質のバラつきもあり、内容の正誤も精査できないため、ボランティアなどに頼って予算を抑えることにはリスクがあると思う。しっかり予算をかけて質の高い教育支援をこの町の子どもたちに提供していただきたい。
- ②子供たちの学力維持に大いに不安があります。今や都市部の塾に通わなくてもネットを活用して家庭でも高度な教育環境が整えられますが、それについて理解のある教育者、また最新の家庭学習の方法をコーチングできる先生方はいらっしゃいますでしょうか？SNSや検索エンジン(さらに言えば対話型AIも)を活用すれば先生に質問するより早く疑問を解消することが出来る。絵画一つとっても先生の評価のコメントを待つより早く世界中から様々な評価を得ることが出来ます。しかしそれにはやはりある程度のネットリテラシーが必要です。先生方には従来の常識やプライドに囚われず子供たちにどんどんそういった情報を与えて欲しい。漁業など家業を継ぐ子供たちを否定する訳ではありませんが、その地域に子供を縛り付けることなく広い世界で学ばせ、その経験をもってして地域を発展させていってくれる人材を育てることこそ急務だと思います。
- ③予算事業で、小学校の備品設備などの適切な管理とあるが、修理するのが遅すぎる。実際に、内海小内学童保育で使用している南側の窓にヒビが入り、とても危ない状態でガムテープで修繕していたが、健康子育て室の対応が全く遅く半年以上もほったらかし状態。その理由として支払いがどこになるかで遅くなったと言うが、防犯上と割れて子供が怪我したら危険なのに、論外です。予算云々も良いが、役場内の組織ももっとしっかりしていただきたい！現場のことを全くわかっていなくて、デスクの上で考えていてもダメだと思います。
- ④子供たちの教育は全体主義ではなく個人個人に合った教育得意な分野を大きく伸ばすことにも力を入れたらどうか。地元で就職しやすいように職場体験をもっと広げてはどうかと思う。
- ⑤基本施策1-1～1-2で提案。本町の最大課題は、人口増である。その点から子育て、小中学校の教育環境である。この1～2年小中学校の再編が協議されてきた。今後の環境変化や問題点を検討していくことが必要である。現在、公共施設の再配置が議論されているが、将来的には保育園も対象となり問題となる、「安心して子供を育てられる南知多」のPRキャンペーンが必要。
- ⑥小規模大規模メリットデメリットがあるので永遠に答えがでない。小規模ならではのメリットを発揮する。のびのび自由に学べるよう選択できる教育環境。
- ⑦基本施策1-1～1-2で提案。地域ごとに小中一貫校を。
- ⑧学校統合が進むほど、子供たちは地域から離れていく。地域に1校の小中学校は必要である。
- ⑨廃校を利用して小学または中学の不登校特例校を作ることができれば、リモートでも働ける働き盛りの子育て世帯が毎年移住してくると思います。不登校特例校には非常に大きなニーズがあり、他に先行者有利案件はほぼ残っておらず、人口を増やす唯一の起死回生の方法だと思います。難しいとは思いますが、この難しさの中に南知多の課題が濃縮している気がします。
- ⑩子どもたちへの体験を提供したいがどうしたらできるか？(びわ狩りなど)

7. 管理指標(pt) 町民意識調査による満足度

現状値(R2)	R3		R4		R5		R6		目標値(R6)
86	74	↘	80	↗	88	↗			95

8. 評価委員会の総合評価

評価	評価に係るコメント(評価委員会で出た意見への回答は別資料で公表しています)
R3	
 概ね順調	<ul style="list-style-type: none"> ・統廃合については住民が置き去りにならないよう丁寧をお願いしたい ・学校設備、教員の方には満足している
R4	評価対象外
R5	
 一部努力を要するが概ね順調	<ul style="list-style-type: none"> ・各地区に小学校は欲しいが、統合しないのもお金がかかるので、小学校も中学校も町でまとめられるといいと思う ・草や木を刈ったりして、子どもたちの通学路を整備してもらいたい
R6	

基本施策 1-3 生涯通じて取り組む健康づくり

1. 現状と課題

誰もが本人の希望に応じ働き続け、退職後も元気で充実した老後を送るためには、生涯を通じた健康づくりが重要です。一方で、医師・保健師等の確保、救急医療体制の確保、健診受診率の向上、生活に不可欠な医療機関へのアクセス、地域の保健医療体制の整備が課題となっています。

2. 目指すべき将来像

生活習慣の改善などの日常的な健康づくりや予防医療の充実により、重篤な病気にかかる可能性を減らし、健康寿命を延ばすことで、町民の生活の質を高めるとともに、医療に関わるコストの削減を目指します。

3. 将来像の実現に向けて

- ・母子健診や特定健診、その他の健診について、受診対象世代等に応じた工夫、拡充に取り組み、受診率の向上を図ります。
- ・健康教育、食生活改善事業、介護予防講座など、町民の健康づくりに役立つ機会の充実に取り組みます。
- ・乳幼児から高齢者まで健康と生命を守る予防接種事業を推進します。
- ・医師・保健師等の待遇改善に必要となる財源の確保や、遠隔地医療など新たな技術の活用等、医師・保健師等の確保対策を検討します。
- ・行政、知多南部地域における公的病院の医療機関と地域医療機関の連携により、安定的、継続的な医療の確保を図ります。

4. 主な予算事業

事業名	部署名	事業概要	R4決算 (千円)	R5予算 (千円)	推進 方針※	実施 計画	事業 評価書
1 後期高齢者保健事業費	保険年金室	後期高齢者医療広域連合より健康診査業務を受託し、南知多町の被保険者に健康診査を行います	7,062	8,906	B		P174
2 保健衛生一般管理費	健康子育て室	保健衛生に係る献血推進事業、けんこう南知多プラン推進事業等を実施します	1,363	4,086	B		P197
3 離島診療所運営費	健康子育て室	篠島、日間賀島における安定的、継続的な医療を確保するため、診療所の管理運営費の補助及び維持管理を行います	8,451	7,533	A		P198
4 健康診査事業費	健康子育て室	生活習慣病の予防や早期発見、健康づくりへの意識高揚を図るための健診事業を実施します	11,262	12,099	B		P202
5 国民健康保険特別会計	保険年金室	国民健康保険制度の適切な運用に努めます	2,697,208	2,702,000	B		P175
6 予防接種事業費	健康子育て室	乳幼児から高齢者まで健康と生命を守る予防接種事業を推進します	39,976	33,661	B	P25	P200
7							
8							
9							
10							

※事業の推進方針は、前年度の事業評価書に基づいて記載しています。(A…拡充 B…継続 C…縮小 D…廃止)

5. 地域との協働に関する取組み状況

- 規則正しい生活リズム、定期的な運動、禁煙を心掛け、健康診断を積極的に受けている。
 ○「健康経営(従業員の健康を、企業の生産性の向上等につなげる取組み)」を実践している。

6. 町民意識調査によるニーズ等


町民意識調査モニターによる自由記述のうち具体的な要望等のみを抜粋(町民意識調査ニーズに対する回答は別の資料で公表しています)

- ①健康南知多プラン推進事業は、プランに終わらず、実際に町民の役に立っているだろうか？町民に届かないプラン立てにお金と時間とボランティア労力が使われていないか？その年度毎に立てたプランの成果を示して欲しいです。
- ②南知多町と美浜町で知多厚生病院を官民製の医療機関にしてみっと検査機械の最新化をしてみっと利用しやすいたらどうかと思います。
- ③コロナ対策での町の取組は評価できる。今後、町の医療健康体制づくりでは、住民にわかりやすいパンフレット等の作成が必要。緊急事態での病院案内などをわかるようにしていくことです。
- ④100歳体操はとても良いと思っています。
- ⑤予防医療にも力を入れてほしい。
- ⑥生活習慣病に対する予防のための啓蒙が必要。
- ⑦離島の緊急医療体制での不安点が深夜などの船での移動です。海上タクシーで本土へ行こうとしても繁忙期になる夏など、利用するのに難しい時もあると思います。料金は発生しますが、個人の商売をしている中で、なおかつ緊急搬送もとなると仕事の妨げにはなっていると思います。町で緊急用でも利用できる船を一隻用意するか、それが難しい場合は補助として利用した船にプラスで補助を出さないと、海上タクシーも年々減っていて負担が増えてきてしまうと思います。

7. 管理指標 (pt) 町民意識調査による満足度

現状値(R2)	R3		R4		R5		R6		目標値(R6)
89	80	↘	89	↗	92	↗			95

8. 評価委員会の総合評価

評価	評価に係るコメント(評価委員会で出た意見への回答は別資料で公表しています)
R3	
 概ね順調	<ul style="list-style-type: none"> ・介護サービス、おむつなどの施策に満足している ・高齢者を医療機関へ連れていくシステムが必要
R4	評価対象外
R5	評価対象外
R6	

基本施策 1-4 個性を活かす障がい者福祉

1. 現状と課題

本町の障がい者手帳所持者数はほぼ横ばい傾向ですが、身体障がい者や重度障がい者は65歳以上の高齢者の割合が多くなっていることから、以下が課題となっています。

- ・障がい者の高齢化や重度化、介護者及び介助者の高齢化
- ・障がい者の自立と親亡き後の生活
- ・グループホーム等の施設及び福祉サービスの人材確保

2. 目指すべき将来像

思いやりの心によってみんなで支え合い、誰もが地域の中で自立した生活ができ、それぞれの特性に応じた多様性が発揮できるような地域福祉の実現を目指します。

3. 将来像の実現に向けて

- ・各障がい福祉サービスの見込量や確保方針を示すための、各種計画を進めます。
- ・自立支援等の充実により、福祉施設の入所者の地域生活への移行や福祉施設から一般就労への移行等を図ります。
- ・企業等による障がい者の雇用や、多様性を活かした社会参加を支援します。
- ・コミュニティやボランティアなど町民の自発的な福祉活動の推進を支援します。
- ・不自由なく医療・福祉サービスを受け、安心して生活するために、障がい者の医療費助成や障がい福祉サービスを提供していきます。

4. 主な予算事業

事業名	部署名	事業概要	R4決算 (千円)	R5予算 (千円)	推進 方針※	実施 計画	事業 評価書
1 社会福祉団体助成事業費	住民福祉課	社会福祉関係団体に対する活動助成を実施します	37,393	36,760	B		P163
2 障害者医療費	保険年金室	身体障害者手帳1級から3級の方などを対象に、医療費の自己負担額を助成します	21,599	25,306	B		P168
3 精神障害者医療費	保険年金室	精神障害者保健福祉手帳1・2級の方などを対象に、医療費の自己負担額を助成します	16,267	17,192	B		P171
4 後期高齢者福祉医療費	保険年金室	後期高齢者医療被保険者で障害者医療や精神障害者医療などに該当する方を対象に、医療費の自己負担額を助成します	48,054	50,795	B		P172
5 訪問看護サービス助成事業費	保険年金室	篠島及び日間賀島に在住する町民が医療保険で訪問看護サービスを利用する場合に要する海上交通費及び師崎港駐車場料金の助成を行います	59	120	B		P173
6 障害者援護事業費	住民福祉課	在宅障害者手当、障害者交通費扶助等、障害者に対する援護事業を実施します	42,417	42,415	B		P164
7 障害者総合支援事業費	住民福祉課	障害者総合支援法等に基づき、福祉サービスを実施します	323,705	302,938	B	P57	P165
8 認定審査会費	住民福祉課	障害者介護給付認定審査会を開催するなど障害支援区分認定事業を実施します	1,100	1,216	B		P166
9							
10							

※事業の推進方針は、前年度の事業評価書に基づいて記載しています。(A…拡充 B…継続 C…縮小 D…廃止)

5. 地域との協働に関する取組み状況

- 授産施設や福祉作業所の製品を購入、サービスを利用している。
- 障害に対しての正しい知識を持っている。障がい者の得意なことや才能を知り、評価している。
- 授産施設に仕事を出すなど応援している。

6. 町民意識調査によるニーズ等



町民意識調査モニターによる自由記述のうち具体的な要望等のみを抜粋(町民意識調査ニーズに対する回答は別の資料で公表しています)

①様々な障がいのある方、認知症の方、子育て中の家族、青少年、元気な高齢者、引きこもりがちな若者、様々な方が気楽に集えるカフェのような場所を作りたい。子どもや若い世代には多様性を学ぶ機会、障がいのある方や高齢者、生産年齢の方には必要とされたり居場所の1つとなったりする。今は「こころの時代」豊かさは心の満ち具合。スツと気の抜ける場所、やる気の出る場所、そして経済を回す場所としてソーシャルなお店を作りたい。

7. 管理指標 (pt) 町民意識調査による満足度

現状値 (R2)	R3		R4		R5		R6		目標値 (R6)
85	87	↗	90	↗	86	↘			95

8. 評価委員会の総合評価

評価	評価に係るコメント(評価委員会で出た意見への回答は別資料で公表しています)	
R3		
 一部努力を要するが概ね順調	<ul style="list-style-type: none"> ・当事者のみならず、介助する人への支援を充実してほしい ・地域に障がい者がいることを地域全体が理解してほしい ・精神障がい者への支援拡充 	
R4		
	評価対象外	
R5		
 一部努力を要するが概ね順調	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者医療費、精神障がい者医療費について、他の公費負担を使うことで、町費の負担が減り、予算をほかのサービスにまわすことができるのであれば、そのような取り組みを望む。 ・障がい者福祉に協力できる情報がほしい 	
R6		

基本施策 1-5 安心して住み続けられる長寿社会

1. 現状と課題

本町は、漁師や農家、観光業者など自営業が多く、一般的な定年の年齢後も、体力の続く限り元気に働く人が多いという強みがあります。一方で、高齢化と若年層の流出に伴い家族による介護力の低下が予想され、受け皿となるサービス基盤や地域づくりが課題となっています。

2. 目指すべき将来像

保健、医療、福祉等の各政策や、互いに助け合い支えあうコミュニティにより、年をとっても、また要介護状態となっても、住み慣れた地域で暮らし続けられる長寿社会の実現を目指します。

3. 将来像の実現に向けて

- ・若い世代と高齢者が交流し、支え合いの意識を持つ機会を創出します。
- ・効果的な介護の方法の習得、介護者の不安・悩みの緩和等の機会を提供します。
- ・高齢者の暮らしを支えるための、在宅福祉サービス、高齢者支援事業を提供していきます。また民間事業者を含めた介護サービスに従事する人材の確保を支援します。
- ・地域ケア会議等を通じて、在宅医療、介護連携等の環境整備を推進します。

4. 主な予算事業

事業名	部署名	事業概要	R4決算 (千円)	R5予算 (千円)	推進 方針※	実施 計画	事業 評価書
1 社会福祉一般管理費	住民福祉課	民生委員児童委員の活動を支援します	2,989	3,108	B		P162
2 老人福祉一般管理費	健康介護課	ひとり暮らし高齢者が地域で安心して生活できる地域づくりを支援します	1,529	69,906	B		P183
3 高齢者敬老事業費	健康介護課	福祉敬老フェアの開催や百歳高齢者の記念品の授与など高齢者の敬老に係る事業を実施します	750	1,087	B	P60	P184
4 在宅福祉事業費	健康介護課	日常生活に不安のあるひとり暮らしや在宅高齢者が安心して暮らせるために高齢者福祉サービスを実施します	4,869	5,204	A		P185
5 高齢者福祉団体助成事業費	健康介護課	老人クラブ連合会及び単位老人クラブ、シルバー人材センターの活動を支援します	7,850	8,841	B		P186
6 後期高齢者医療特別会計	保険年金室	後期高齢者医療制度の適切な運用に努めます	301,990	306,000	B		P176
7 介護保険特別会計	健康介護課	介護保険制度の適切な運用に努めます	2,007,694	2,007,000	A		P187
8							
9							
10							

※事業の推進方針は、前年度の事業評価書に基づいて記載しています。(A…拡充 B…継続 C…縮小 D…廃止)

5. 地域との協働に関する取組み状況

- 高齢者は子どもの見守りや学習支援、若年者はPC・スマートフォン操作や体力の要る作業など、世代間でお互いをサポートしている。
- 子どもと高齢者が交流する行事などに積極的に参加している。
- 移動販売や買い物支援、宅配サービスを充実させている。

6. 町民意識調査によるニーズ等



町民意識調査モニターによる自由記述のうち具体的な要望等のみを抜粋(町民意識調査ニーズに対する回答は別の資料で公表しています)

- ①町職員ではなく、シルバー人材センターの方や学生に見守り巡回してもらうのはどうか。そういう協働で保つ方が安定的ではないか。自助共助や支え合いは若い世代が少ない以上、支えられる側が多すぎて共倒れになると思う。人口流出とコミュニティの限界ははっきりと見えています。少ない予算で、高齢者に健康に暮らしてもらうためには高齢者が賃金を得て人を助ける、学生の学びの場としての老人福祉があっても良いのではないのでしょうか。
- ②見守りは大切で遠隔カメラでも見守る仕組みや年寄り同士で連絡が取れるようにしたらどうだろうかと思います。
- ③75歳以上ひとり暮らし高齢者を町職員が見守り訪問を2か月に1度?それを1週間に1度にしてください。せめてもの回数です。本当は1日に1度がいいですが...!
- ④紙オムツは全額負担。
- ⑤予算事業に75歳以上一人暮らしを見守り訪問とあるが、私も地元で60年住んでいて思うが、75歳以上の一人暮らしに限定してしまうと見落としがある。例えば、登録は高齢のご夫婦になっていても実際はどちらかが入院していたりして実質一人暮らしのようなものなので、75歳以上の見守りにした方が良いと思う。
- ⑥町職員の見守り事業が行われている、一人暮らしで聞き取りなどを行っているが、その際必要な情報のパンフなどを提供してもらいたい。

7. 管理指標 (pt) 町民意識調査による満足度

現状値(R2)	R3		R4		R5		R6		目標値(R6)
88	85	↘	89	↗	87	↘			95

8. 評価委員会の総合評価

評価	評価に係るコメント(評価委員会で出た意見への回答は別資料で公表しています)
R3	
 概ね順調	<ul style="list-style-type: none"> ・介護サービス、おむつなどの施策には満足している ・高齢者を医療機関へ連れていけるシステムが必要
R4	
 一部努力を要するが概ね順調	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとり暮らし高齢者に対して役場、民生委員、地域から積極的な支援を ・ボランティアなどで高齢者に関わりたい人を募集してみてもどうか ・支援者側の生きがいづくりはできないだろうか
R5	
	評価対象外
R6	

基本施策 1-6 豊かな自然を活かしたひとづくり

1. 現状と課題

町内外で実施された各種のアンケートでは、町民や移住希望者の自然を重視する結果が出ており、選ばれるまちであるためには、自然とふれあう機会の充実が重要と考えられます。

2. 目指すべき将来像

多くの方にとって本町が、住みたい・住み続けたい・戻りたいと思えるように、自然と親しむ機会が確保されることを目指します。

3. 将来像の実現に向けて

- ・地域への愛着づくりや、移住、事業承継のきっかけづくりとして、農・漁業体験や、自然とふれあうプログラムの充実を図ります。
- ・より多くの方が余暇に自然と親しむため、自然のなかで行うアウトドア等の活動の普及・展開を支援します。
- ・また、上記の取り組みができるよう、美しい自然を守る活動の普及・展開を支援します。

4. 主な予算事業

事業名	部署名	事業概要	R4決算 (千円)	R5予算 (千円)	推進 方針※	実施 計画	事業 評価書
1 環境保全対策事業費	環境課	住民と行政の協働による環境美化と地域環境の保全に努めます	20,862	38,024	B	P58	P178
2 保育所一般管理費	健康子育て室	保育サービスの充実を図ります	129,123	137,917	B		P191
3 子育て支援センター・どんぐり園事業費	健康子育て室	子育て支援センター(おひさま)、どんぐり園の充実を図ります	3,230	3,774	B		P192
4 放課後児童健全育成事業費	健康子育て室	放課後児童クラブの充実を図ります	8,399	10,240	A	P23	P193
5 農業土木一般管理費	建設課	農地や農業用施設の保全と質的向上を図る地域共同の取り組みを支援します	10,759	10,871	B		P127
6							
7							
8							
9							
10							

※事業の推進方針は、前年度の事業評価書に基づいて記載しています。(A…拡充 B…継続 C…縮小 D…廃止)

5. 地域との協働に関する取組み状況

- 町内の野山、河川、海などへ出かけ、自然と親しんでいる(個人)。
- 子どもを自然の中で遊ばせ、自然との付き合い方を学ばせる(個人)。
- 農・水産業体験、地元の食材を使った料理体験、アウトドア体験などの機会を提供する(事業者)。

6. 町民意識調査によるニーズ等


町民意識調査モニターによる自由記述のうち具体的な要望等のみを抜粋(町民意識調査ニーズに対する回答は別の資料で公表しています)

- ①町民や移住者、移住希望者は「触れ合える自然」を求めているが、都市部よりも触れ合える自然が少ない。公共の、分かりやすく老若男女が利用しやすい「自然と触れ合える場所」が整備されるべきです。乱開発され放置された跡地や、地域の史跡や鎮守の森を整備し、南知多を感じられる場所を提供する。子どもが立ち入れる里山のような場所の整備は子育て世代の囲い込みと呼び水になる。触れ合える自然を管理するための予算は組めないのか。環境保全費や農業土木費から自然公園を生かす里山公園整備費は作れないのか。
- ②太陽光パネルの撤去。
- ③ソーラーパネルは不許可にして。
- ④せっかく海があるのだから漁業権を解放されたことを受けて誰でも海に入って生まれた場所に興味と親しみが持てるようになってほしい。我々も子供の時に自由に海に入ってカニや魚を捕まえて海に親しんできでいい思い出ができ、地元を大切にしようと思えるようになりました。
- ⑤これまで南知多町のハイキングロードやサイクリングロード(サイクリスト)の整備を要望してきたが未だ実現しない。多くの自治体でサイクルロードの整備やトレイル休憩場所の提供などが進んでいる。余剰の公園や、今回乱開発にさらされた檜木地域の整備など、新たな観光拠点としての南知多が出来ていくと思う。(昨年と同様)
- ⑥生き物観察会やビーチクリーン、稲刈り体験会もこれに当たるとは思いますが、名古屋の子育て世帯がリーチしやすい形で宣伝してはどうですか。(例えば愛知県内の保育園に配られる「ママごはん」などの小冊子に、小さくても南知多を宣伝する広告欄を持つなど。少額でも効果的に子育て世帯へイベント周知ができて、南知多への関係人口を増やせるのではないかと)
- ⑦住みたい、戻りたいとしたのであれば、まだまだ町は補助や支援が足りない。育てるには田舎で最高な場所であっても、子育てには今、南知多町は向いていないと思います。

7. 管理指標 (pt) 町民意識調査による満足度

現状値 (R2)	R3		R4		R5		R6		目標値 (R6)
84	78	↘	80	↗	85	↗			95

8. 評価委員会の総合評価

評価	評価に係るコメント(評価委員会で出た意見への回答は別資料で公表しています)
R3	
 一部努力を要するが概ね順調	<ul style="list-style-type: none"> ・環境教育の充実や自然環境の整備をしてほしい ・企業と積極的にコラボして町をPRしてほしい ・地域との協働ができる環境が増えていくと良い
R4	評価対象外
R5	評価対象外
R6	

基本施策 1-7 郷土愛、つながりを育む文化・スポーツ

1. 現状と課題

伝統行事やスポーツ活動は、町民の交流の場となり、健康で充実した余暇を過ごすために重要である一方、高齢化に伴う参加者や後継者の減少を踏まえた活動の在り方の見直し、施設の老朽化への対応が課題となっています。

2. 目指すべき将来像

伝統・文化を保存し次代へ伝え、情報発信することで、地元にも愛着と誇りを持てる次代の育成や、文化を活かした観光・交流の振興を目指します。また、文化・スポーツ活動が、町民の交流や、健康の維持増進につながることを目指します。

3. 将来像の実現に向けて

- ・今後必要となる公共施設再配置方針を定め、施設の再配置や長寿命化、修繕を進めます。
- ・幅広い世代が伝統文化等に触れることのできる機会の創出、郷土愛の醸成に取り組みます。
- ・各種行事は、町民のニーズに即した内容や運営により、参加者の維持・増加を図ります。
- ・文化財や伝統文化を保存、活用するための取り組みを進めます。
- ・伝統文化に触れ、体験する観光プログラムの開発、実施について検討します。

4. 主な予算事業

事業名	部署名	事業概要	R4決算 (千円)	R5予算 (千円)	推進 方針※	実施 計画	事業 評価書
1 二十歳のつどい 開催費	社会教育課	20歳を祝い、記念行事として「二十歳のつどい」(旧成人式)を行います	490	362	B		P221
2 公民館維持管理 費	社会教育課	各地区公民館等社会教育施設の適切な維持管理、整備事業を行い、文化活動や生涯学習活動を推進します	34,006	37,079	B		P224
3 文化財保護費	社会教育課	文化財保存事業や文化財活用事業等を行い、先祖から受け継がれてきた大切な文化財や伝統行事を後世に伝えていきます	2,045	2,416	B	P32	P225
4 尾州廻船主内田 家維持管理費	社会教育課	尾州廻船内海船船主内田家の適切な維持管理、活用事業を行い、貴重な文化財建造物を後世に伝えるとともに、魅力を発信します	5,330	8,842	B		P226
5 梅原邸維持管理 費	社会教育課	梅原邸の適切な維持管理、普及活用に努めます	609	811	B		P227
6 スポーツ教室・大 会開催費	社会教育課	スポーツ教室や各種スポーツ大会を開催し、住民相互のコミュニケーションを図り、心と体の健康増進に努めます	643	962	B		P229
7 総合体育館維持 管理費	社会教育課	総合体育館の円滑な管理運営に努め、スポーツの振興を図ります	24,862	24,875	B		P230
8							
9							
10							

※事業の推進方針は、前年度の事業評価書に基づいて記載しています。(A…拡充 B…継続 C…縮小 D…廃止)

5. 地域との協働に関する取組み状況

- 地域の伝統行事、文化・スポーツ活動などに積極的に参加する(個人)。
- 伝統行事の意味や歴史を学ぶ(個人)。
- 行事を負担が少なく参加しやすくするなど、地域で続く取り組みを考える(関係者)。

6. 町民意識調査によるニーズ等



町民意識調査モニターによる自由記述のうち具体的な要望等のみを抜粋(町民意識調査ニーズに対する回答は別の資料で公表しています)

- ①スポーツや文化を維持するには、現代の生活スタイルに大きな負担となる。学校教育に外部講師を招いて開くスポーツ講座を組み込んだり、スポーツ少年団のような組織が個人のボランティア精神に任せただけでなく、賃労働であってもいいのではないか。学びとしてスポーツを始めたい子どもがいても、家庭に金銭的余裕または時間的余裕がなく諦める子どもがいるので、スポーツの習い事に補助金を付けたり、送迎や保護者負担を減らす支援があれば青少年だけでなく、老若男女スポーツに触れ合え、身体の健康にも寄与するのではないか。「健康な体づくり支援事業(仮)」として広報等で呼びかけ、定額または実費など支援してもいいのではないか。
- ②なぜ、伝統行事、祭りが大切なのか、子どもの頃から伝えられると良いと思います。
- ③受け継いでいく人がいての郷土愛であり、町内の人が利用できる施設も町民がいてからこそであるため、今後縮小傾向になっていくのは必然的である。ただ受け継いでいく努力は必要だと思う。
- ④地元の祭礼などの行事は人的減少でこれまでの形態を維持するのは困難でコロナ禍で大きく後退するのは必至、少人数化で年代を問わない企画が必要だと思います。
- ⑤地域を大切にすれば学校をつぶすな。
- ⑥文化財保護と博物館の建設(空き校舎や施設の再利用など)最近の発掘調査ブームなど生かせる資源が沢山ある。(昨年と同様)
- ⑦毎週、総合体育館でのヨガ教室に参加しているが、町の費用の補助があるといい。

7. 管理指標 (pt) 町民意識調査による満足度

現状値(R2)	R3		R4		R5		R6		目標値(R6)
79	85	↗	81	↘	82	↗			95

8. 評価委員会の総合評価

評価	評価に係るコメント(評価委員会で出た意見への回答は別資料で公表しています)
R3	
 一部努力を要するが概ね順調	<ul style="list-style-type: none"> ・広報費や草刈作業の予算を充実させる ・内田家や梅原邸などが地元にあっても知らないため、広報や周知を行う
R4	
 一部努力を要するが概ね順調	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館施設の老朽化して、壊れたままになっているところがある ・小さい図書室が各地域に点々とあるが、利用しづらい ・文化財保存や戦争等の遺跡保護の予算が必要
R5	
	評価対象外
R6	

基本施策 2-1 豊かな海と産物を活かした水産業

1. 現状と課題

本町の水産業は、豊かな漁場や良好な漁港といった強みから、愛知県内最大の水揚げ量、県内最多の漁業従事者を擁しています。また、水産業は本町の重要な観光資源でもあり、町民にとっても南知多町の象徴的な存在です。一方で、漁場の環境悪化による漁獲量減少や燃料費高騰などのコスト高、食生活の変化による消費量減少など、経営環境が悪化し、従事者の高齢化や後継者不足が続いています。

2. 目指すべき将来像

経営が安定し、水産業従事者や就業希望者にとって魅力ある水産業を目指します。また、若者をはじめとした町民にとっても、観光客にとっても、美味しい海の幸が本町の魅力であり続け、本町産業全体の価値創出の源泉であり続けることを目指します。

3. 将来像の実現に向けて

- ・水産資源の持続可能性を確保するため、漁場の造成や水質の改善などの環境保全、栽培漁業や資源管理型漁業を推進します。
- ・新型コロナウイルスの拡大による消費の減少に対応するため、インターネットによる販売などの取り組みを支援します。
- ・水産業者等の設備の近代化支援により、生産性向上や、水産業従事者の就労環境の改善、衛生管理の強化を図ります。
- ・現代の生活スタイルに適した加工品、市場に出荷しても安い魚種の有効活用、輸出力の強化など、販売の安定化と高付加価値化を図ります。

4. 主な予算事業

事業名	部署名	事業概要	R4決算 (千円)	R5予算 (千円)	推進 方針※	実施 計画	事業 評価書
1 漁業振興対策事業費	産業振興課	漁業生産基盤の向上や漁村・漁場環境の保全ならびに漁業経営の安定化を図ります	478,501	27,176	A	P41	P147
2 栽培漁業振興対策事業費	産業振興課	「獲る漁業」から「育てる漁業」への推進を図り、漁業経営の安定化を図ります	3,764	3,764	A	P42	P148
3 漁港一般管理費	建設課	町管理漁港である4漁港(大井、日間賀、山海、豊丘)の一般事務を実施します	614	679			
4 港湾一般管理費	建設課	町管理港湾である内海港の一般事務を実施します	252	296			
5 港湾施設維持管理費	建設課	町管理港湾の施設維持・修繕等を実施します	5,152	8,612	A		P133
6							
7							
8							
9							
10							

※事業の推進方針は、前年度の事業評価書に基づいて記載しています。(A…拡充 B…継続 C…縮小 D…廃止)

5. 地域との協働に関する取組み状況

- マルシェや市などに参加し、地元の水産物を楽しみながら購入する(個人)
- 地元の水産物の魅力(おいしさやレシピなど)を口コミやSNSで情報発信する(個人・事業者)
- 旬の地元水産物をメニューや品揃えに取り入れる(個人・事業者)
- 浜清掃に参加(個人・事業者)、漁具を海に落とさないよう管理する(事業者)など

6. 町民意識調査によるニーズ等



町民意識調査モニターによる自由記述のうち具体的な要望等のみを抜粋(町民意識調査ニーズに対する回答は別の資料で公表しています)

- ①豊浜地区に関して、新規に漁師になりたい若い人が住みやすい手頃な賃貸住宅又はアパートがないので、他所から雇い入れたくても雇いにくいです。
- ②この町の魅力の大きな部分である海産物。観光客も県民も南知多の海産物は「目的」として十分な資源です。漁業収入はこの町の財政の大きな位置づけであるから、漁場を豊かにすることや人材確保、そして広報は全力で投資してください。
- ③魚の種苗放流はとても意義のある事業だと思いますが、漁業関係者に「成長乱獲」の意識はあるのかと疑問に思う時があります。もう2～3年待てば大きくなるであろう小さな魚まで早獲り競争のように根こそぎ水揚げしては資源管理も何もないどころか一度に処理もできないので家畜の肥料にするしかないという現状、構造的な欠陥を感じます。漁船ごとに漁獲枠を設け、それに満たなかった漁師には町が補填をする…というのは難しいとは思いますがそれくらいしか解決策は無いような気がします。
- ④衰退していく水産業では生活で生き抜くための教育が必要だと思います。就職についての消去法で漁業に従事するのは危険で衰退に拍車がかかるので水産の教育を取り入れることで地元就職する環境を整えたらどうかと思います。
- ⑤小女子・蛸・イカ・蟹等魚が獲れなくなっている。難しいが、原因究明や対策など研究する場、町民(漁師)が学習する場を設けられないか？
- ⑥最近の漁業不振は、温暖化に一因があり、今のうちに取れるだけ獲る漁法では町はつぶれる。温暖化の原因調査など水産試験場の協力なども得て広報活動を強める。福島原発の汚水の放流などは町として「反対」の意思表示をお願いしたい。(昨年と同様)
- ⑦高知県黒潮町のように、地域の美味しい水産物と地域の野菜をコラボさせて、南知多の味を防災缶詰にできないでしょうか。

7. 管理指標(pt) 町民意識調査による満足度

現状値(R2)	R3		R4		R5		R6		目標値(R6)
84	80	↘	87	↗	80	↘			95

8. 評価委員会の総合評価

評価	評価に係るコメント(評価委員会で出た意見への回答は別資料で公表しています)
R3	
 一部努力を要するが概ね順調	<ul style="list-style-type: none"> ・漁獲量が減っている。育てる漁業を進めて若者が漁業に携われるようにしてほしい ・ニーズに合っていると思うが課題がたくさんあるので解決に向けて推進してほしい ・行政の協働への姿勢は理解できたが、よく見えるようにすると良い
R4	評価対象外
R5	
 概ね順調	<ul style="list-style-type: none"> ・漁師さんを雇う側への補助、就業規則を作成するなど、働く環境を作ってほしい ・新規漁業者への教育など、町からの提案での事業を行ってはどうか ・後継者問題については一部改善が必要
R6	

基本施策 2-2 豊かな農地と産物を活かした農業

1. 現状と課題

本町では、農業にとって気候条件が恵まれ、広大な優良農地や広域農道などのインフラが整備されているなどの強みがあり、高齢でも元気に働く農業従事者が数多くいます。
一方で、農畜産物の価格低迷など厳しい経営環境から、農業従事者の高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加といった問題が生じています。

2. 目指すべき将来像

経営が安定し農業従事者や就業希望者にとって魅力ある農業を目指します。
また、農業を起点として、加工や販売、観光などの多様な産業が本町で価値を生み出す、付加価値の源泉として農業が活躍するとともに、多面的機能(良好な自然環境や景観を保全するなど、多様な機能)を発揮することを目指します。

3. 将来像の実現に向けて

- ・多面的機能の観点からも、農業を取り巻く環境の管理体制の構築に取り組みます。
- ・農用地の計画的利用、耕作放棄地の再生及び利用促進など、農業資源の活用を支援します。
- ・経営規模拡大やICT(情報通信技術)の活用など、生産性向上や作業負担軽減を支援します。
- ・6次産業化や体験型観光、輸出の促進など、農業の高付加価値化、販路拡大を支援します。

4. 主な予算事業

事業名	部署名	事業概要	R4決算 (千円)	R5予算 (千円)	推進 方針※	実施 計画	事業 評価書
1 農業委員会活動費	産業振興課	農業委員会定例会を開催するとともに、委員による現地調査及び研修を実施します	2,782	3,218	B		P140
2 水田農業経営所得安定対策事業費	産業振興課	水田農業経営の安定を図るとともに、飼料用米・麦・大豆等の戦略作物への作付転換を支援します。	163	180	B		P141
3 農業振興対策事業費	産業振興課	農業振興を推進するため農業振興地域整備計画の適正な管理や各種農業団体等へ補助等を行います	29,441	36,992	B	P39	P142
4 農業用水対策事業費	産業振興課	愛知用水関連施設の維持管理に伴う農家の負担軽減を図るため、地元管理のポンプ電力料等の補助を行います	2,278	4,056	B		P143
5 畜産振興事業費	産業振興課	畜産経営の安定を図るため、死亡牛のBSE検査及びCSFワクチン接種等に係る経費の一部を補助します	9,684	502	B		P145
6 農業土木一般管理費	建設課	農地や農業用施設の保全と質的向上を図る地域共同の取り組みを支援します	10,759	10,871	B		P127
7 県営経営体育成基盤整備事業費	建設課	農産物を効率的に生産・出荷するため老朽化した農道の補修整備等を実施します	25,000	25,000			
8 環境緑化推進事業費	産業振興課	住民の緑化に対する認識を高め、環境緑化を推進します	4,556	9,235	B		P146
9							
10							

※事業の推進方針は、前年度の事業評価書に基づいて記載しています。(A…拡充 B…継続 C…縮小 D…廃止)

5. 地域との協働に関する取組み状況

- マルシェや市などに参加し、地元の農産物を楽しみながら購入している(個人)
- 休耕地の農場活用活動に参加している(個人)
- 規格外や、出荷できない野菜の利用ルートを確認している(事業者)
- 旬の地元農産物をメニューや品揃えに取り入れている(個人・事業者)

6. 町民意識調査によるニーズ等

町民意識調査モニターによる自由記述のうち具体的な要望等のみを抜粋(町民意識調査ニーズに対する回答は別の資料で公表しています)

- ①優良農地は効率化して太陽光発電など入り込ませないようにし、分散農地や特性の強い農地はそれに適した付加価値のある作物を作り、南知多町産を誇ってマーケティングしたらもっと収入に繋がるはず…そういったコンサルやコーディネートが自分にも出来たらいいのですが。小規模農家も南知多で生産しているだけで価値が生まれるよう、町としてもマーケティングや広報に予算を投資しては。
- ②農業の振興はまずは経験だと思うので高齢者の長い経験の意見をまとめてマニュアル化して効率よい作物方法を若手が引き継がように仕組みを作れば交流が活発になり発展する可能性があると思います。
- ③できれば地元の農産物の少ない野菜を食べたい。しかし自給率はどんどん下がり、JAの野菜売り場もどんどんつぶされている。JAを守り、農家の人が安心して暮らせるだけの保証をしてほしい。
- ④新規の農業従事者が生産した農産物の販売に苦慮している。現行のスーパーや農協関連の販売は門戸を閉ざしているに見える。町の積極的な施策により「道の駅」や「南知多町アンテナショップ」を開設し、これからの農業従事者に販路を提供し、同時に観光客にもアピールする取り組みをお願いしたい。
- ⑤他市から南知多で農業をやりたい！との希望者に利用しやすい施策を検討し紹介する取り組みが必要だと思う。ウクライナ戦争での食料危機が深刻化し、自給率の低下が緊急課題に。農業従事者を育成する施策を進めてもらいたい。
- ⑥農協ではなく町で産直市場など開いてほしい。
- ⑦個人的には漁業以上に農業は、やり方次第で伸びしろがあるように感じる。休耕地となっている農地も多いので、農業者に対する許可なども柔軟に対応して活性化していけたらと思う。
- ⑧販売網を広げる手伝いを充実しては。

7. 管理指標 (pt) 町民意識調査による満足度

現状値 (R2)	R3		R4		R5		R6		目標値 (R6)
79	80	↗	81	↗	82	↗			95

8. 評価委員会の総合評価

評価	評価に係るコメント(評価委員会で出た意見への回答は別資料で公表しています)	
R3		
■ ■ 一部努力を要するが概ね順調	<ul style="list-style-type: none"> ・荒れ地の対策など個人ではできないことについて、対処してほしい ・子どもに託せるような農地を残していきたい 	
R4	評価対象外	
R5	評価対象外	
R6		

基本施策

2-3 新たな魅力や価値を生み出す商工業

1. 現状と課題

小規模経営が中心となる本町の商工業では、人口減少に伴う地域経済活動の縮小や後継者不足による廃業等が見られることから、地元企業の振興、起業・創業の支援、雇用の確保が重要な課題となっています。

2. 目指すべき将来像

地域の特色や資源を生かした地元企業の振興や、起業・創業の支援により、地域の商工業が活性化し、世代、国籍を問わず魅力ある雇用の場が拡大することを目指します。

3. 将来像の実現に向けて

- ・関係団体と連携して地元企業の設備投資、商品開発、販路開拓等を促し、労働生産性を高めます。
- ・ICT(情報通信技術)を活用した熟練技術の継承や、新しい技術の導入や運用に必要となるデジタル人材の育成など、技能伝承や生産性向上のための人材育成を支援します。
- ・町内で生産された良質な農・水産物を、町内の製造業者により魅力あるデザインで製品化された製品を認定することにより、農業、水産業などと連携した6次産業化、ブランド化を進めるとともに、ふるさと納税への出品、SNS等のインターネットを活用した積極的な情報発信で地域ブランドを広めていきます。
- ・新型コロナウイルスの拡大防止と経済活動を両立するための事業継続の取り組みや、新しい働き方、生活様式に対応するための環境整備を支援します。
- ・観光産業を中心として、農業、水産業などの地域の特色を生かした新しい地場産業の確立を目指します。

4. 主な予算事業

事業名	部署名	事業概要	R4決算 (千円)	R5予算 (千円)	推進 方針※	実施 計画	事業 評価書
1 産業連携推進事業費	産業振興課	産業活性化を図るため、6次産業化の支援と、「ミーナの恵み」ブランドの認定及びPRを行います	484	1,475	B	P40	P144
2 産業まつり推進事業費	産業振興課	産業まつりを開催し、地域の活性化と地場産業の振興を図ります	3,200	3,200	B		P149
3 商工業振興事業費	産業振興課	町内3商工会に助成し育成強化に努めるとともに、県の中小企業への融資制度に協調する等により、町内の中小企業の活性化と振興を図ります	36,871	30,212	A		P150
4 消費者行政事業費	産業振興課	食料品等生活必需品の正量取引を確保するための商品量目検査及び町民の消費者被害を未然に防止するための教育・啓発活動を実施します	261	293	B		P151
5 ふるさと納税事業費	成長戦略室	ふるさと納税制度の普及と産業振興の相乗効果により財源の確保をします	135,391	240,931	A	P36	P114
6							
7							
8							
9							
10							

※事業の推進方針は、前年度の事業評価書に基づいて記載しています。(A…拡充 B…継続 C…縮小 D…廃止)

5. 地域との協働に関する取組み状況

○お歳暮やお土産には、地域ブランド「ミーナの恵み」認定品を渡す(個人)。
 ○商工会、観光、農業、水産業者など多様な産業と連携し、ニーズや付加価値のある製品開発などに取り組む(事業者)。・・・など

6. 町民意識調査によるニーズ等

町民意識調査モニターによる自由記述のうち具体的な要望等のみを抜粋(町民意識調査ニーズに対する回答は別の資料で公表しています)

- ①「地域の特色や資源を活かして…」というのも大変意義のあることだと思いますが、それに縛られ過ぎるのも発展の妨げになるかと思えます。他の地域の食材も柔軟に取り入れ、掛け合わせていくことで新たな可能性が広がっていくと思います(何を取り入れるかはその人のセンスによると思えますが…)
- ②基本施策2-3、2-6で提案。商工会を合併しろ。
- ③やはり町内の若者が地元で就職しやすいように時限的に税優遇したり、空き家を若者に提供したり何らかの手を打って若者に住みやすいように意見を聞いたりして地元で就職すれば出生率も上がると思います。
- ④地元PRは効果あると思った。先っぽ料理で町外の人から聞かれ、勤めることができる。
- ⑤個人で営んでいる店舗、工場などが最近多く減少していくのを感じる。また、募集をかけても働き手が見つからないという課題もある。

7. 管理指標 (pt) 町民意識調査による満足度

現状値(R2)	R3		R4		R5		R6		目標値(R6)
84	81	↘	71	↘	83	↗			95

8. 評価委員会の総合評価

評価	評価に係るコメント(評価委員会で出た意見への回答は別資料で公表しています)	
R3		
■ ■ 一部努力を要するが概ね順調	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税を増やすための努力が必要 ・南知多町に自然に来てもらえるまちづくりが必要 ・職員にも積極的な関わりをもってほしい 	
R4		
■ ■ 一部努力を要するが概ね順調	<ul style="list-style-type: none"> ・商工会と町が共同で実施している事業について、もっと積極的なPRが必要 ・ふるさと納税事業はさらに拡大し、魅力ある返礼品をもつ事業者等への働きかけをしたほうがいい ・ミーナの恵みブランドのPRは工夫が必要 	
R5		
	評価対象外	
R6		

基本施策 2-4 何度も訪れたい観光・交流

1. 現状と課題

本町には海鮮料理、温泉、海水浴など、四季を通じての観光資源が豊富にあり、観光業は本町の主要な産業となっています。
一方で、近年は観光客数の減少、観光施設等の老朽化への対策、今後さらに多様化が見込まれる観光客の新たなニーズへの対応、感染症拡大という新たな脅威への対応が重要な課題となっています。

2. 目指すべき将来像

本町の持つ自然環境、歴史・文化、豊富な食を生かし、農業、水産業、商工業と連携しながら国際化にも対応できる魅力ある観光・まちづくりを目指します。

3. 将来像の実現に向けて

- ・観光協会と連携をして、来訪観光客の滞在時間の延伸、宿泊数増加を図ります。
- ・老朽化した観光施設等の適切な管理とともに、観光センター等のインフラ整備を検討します。
- ・展示会・イベント等への積極的な出店、SNS等のインターネットを活用し全国、海外へ情報発信を行う等、PRを強化します。
- ・姉妹都市等交流事業、知多半島や三河湾エリアでの協力体制など、他市町村との連携を図ります。
- ・観光関連事業者の情報発信や、外国人対応等のノウハウ取得を支援します。
- ・インバウンド観光が見込めない間も、地元や近場の方も含めた国内旅行者が安全安心に訪れることができるように、感染拡大防止の環境づくりや、地域の魅力の再発見と発信を行っていきます。

4. 主な予算事業

事業名	部署名	事業概要	R4決算 (千円)	R5予算 (千円)	推進 方針※	実施 計画	事業 評価書
1 一般企画費	企画財政課	住民との協働により、姉妹都市等交流、総合計画、公共施設再配置計画、男女共同参画、広域行政、国際交流等に係る事務事業を推進します	10,878	11,089	B	P49	P118
2 離島振興費	成長戦略室	国や県と連携し、篠島・日間賀島住民の生活の安定と福祉の向上を目的に離島振興を図ります	17,666	21,681	B	P50	P121
3 観光振興事業費	産業振興課	町観光協会と協力して、観光宣伝等を実施することにより、積極的に観光振興を推進します	43,463	41,039	B	P43	P152
4 観光資源保全事業費	産業振興課	観光施設の適正な維持管理、観光地の美化により観光資源の保全を図ります	39,686	26,791	B		P153
5 観光施設整備事業費	産業振興課	師崎港観光センター及び内海観光センターの整備を実施します	67,854	7,428	A	P44	P154
6							
7							
8							
9							
10							

※事業の推進方針は、前年度の事業評価書に基づいて記載しています。(A…拡充 B…継続 C…縮小 D…廃止)

5. 地域との協働に関する取組み状況

- 町内の色々な場所に積極的に出かけ、埋もれた良さを見直す(個人)。
- 地元ならではの情報を口コミやSNSなどで発信、来訪者にお勧めする(個人)。
- 史跡の保存・維持清掃や、再生活動に参加する(個人)。
- 体験型観光や、工場見学などの産業観光に取り組む(事業者)。

6. 町民意識調査によるニーズ等


町民意識調査モニターによる自由記述のうち具体的な要望等のみを抜粋(町民意識調査ニーズに対する回答は別の資料で公表しています)

- ①姉妹都市交流は要らないかな。日本中旅行し持続可能な地域活性化を学んで実行してきた自身としては、観光案内人の育成や、「グリーンツーリズム」のような自然や農林漁業と地域の人との繋がりを全面に押し出した「旅」の在り方に予算を掛けた方が良いと思う。お金もほとんどかからないし、繰り返し人が流入する。中には定住する人も出てくる。私はグリーンツーリズムを専攻し実施していたので、子育てが落ち着いたらコーディネートしていきたい。
- ②情報発信を個人の努力に頼り過ぎてはいないか？それならそれで町が意欲のある住民をSNSアンバサダーに認定するなどいろいろ支援の方法はあると思います。
- ③もっと魅力ある町へ発展しないと有料道路がもったいなくて来ない。
- ④特産品に認定された商品は本庁の玄関に掲示されているが、ミーナの恵み認定ブランドのコーナーが無いのは不思議です。
- ⑤竹やぶを整備して肥料化に力を入れて。
- ⑥観光業で大切なことは観光資源と宿泊所を維持することだと思います。旅館や民宿の空き家を民泊にして後継者を募ったり、人手不足を緩和することを考えることも大事かと思えます。
- ⑦総合管理計画で内海駅近辺の観光協会の改善を求めた。また、河和に南知多のアンテナショップの提案をした。検討を！(公共施設等パブリックコメント)(昨年同様)。アンテナショップは、観光客の利便のみならず、町民の各種証明などの発行手続きなども行う「町のミニ出張所」を兼ねる。
- ⑧南知多町の観光PR系のパンフレットに関して、各地区・団体が個別で散発的に作るのではなく、例えば年に一度、全ての地区の観光・土産・宿泊・食事諸々をまとめた一冊のパンフレットを作った方が、費用対効果が高いのではないかと思います。(愛知県イベントにて南知多町の観光PR系のパンフレットを配布した際に、(悪い意味で)こんなに数があるの？という反応がそれなりにありました。

7. 管理指標(pt) 町民意識調査による満足度

現状値(R2)	R3		R4		R5		R6		目標値(R6)
82	84	↗	74	↘	89	↗			95

8. 評価委員会の総合評価

評価	評価に係るコメント(評価委員会で出た意見への回答は別資料で公表しています)
R3	<ul style="list-style-type: none"> ・離島を全国にPRする方法を検討しなければならない ・観光客が満足し、再訪したくなる取り組みが必要 ・まちづくり協議会・NPOとの連携
 一部努力を要するが概ね順調	
R4	評価対象外
R5	評価対象外
R6	

基本施策 2-5 新たなチャレンジを創る起業支援

1. 現状と課題

社会の急速な変化の中でも地域産業の衰退を防ぎ発展させていくため、既存の枠組みにとらわれず活躍できる人材を呼び込み、起業等を促進することが求められます。こうした中、本町の強みである豊かな自然は、移住希望者等の、自然豊かな地方で働きたいというニーズを取り込むための地域資源となり得ます。
また、ICT(情報通信技術)の進歩により、地方でのサテライトオフィスなど場所を選ばない働き方を可能とする技術的環境や、地域の課題解決に取り組む社会的起業や企業の社員による週末起業等が広がっているといった機運など、起業へのチャンスが拡大しています。

2. 目指すべき将来像

起業・新規就業を促進することで、産業を発展させるとともに、人材を呼び込み定着させ、人口減少に伴う諸課題の解決にも貢献することを目指します。

3. 将来像の実現に向けて

- ・国の補助金をはじめとした支援制度等のワンストップ相談窓口、空き家の利活用等による開業コストの低減などにより、起業・新規就業や、開業等後の成長を支援します。
- ・マッチングサイトなどの活用や移住希望者に伝わりやすい情報発信、実際に起業した方との意見交換の機会等により、支援内容や事例等の積極的な情報発信を行います。

4. 主な予算事業

事業名	部署名	事業概要	R4決算 (千円)	R5予算 (千円)	推進 方針※	実施 計画	事業 評価書
1 産業連携推進事業費	産業振興課	産業活性化を図るため、6次産業化の支援と、「ミーナの恵み」ブランドの認定及びPRを行います	484	1,475	B	P40	P144
2 商工業振興事業費	産業振興課	町内3商工会に助成し育成強化に努めるとともに、県の中小企業への融資制度に協調する等により、町内の中小企業の活性化と振興を図ります	36,871	30,212	A		P150
3 観光振興事業費	産業振興課	町観光協会と協力して、観光宣伝等を実施することにより、積極的に観光振興を推進します	43,463	41,039	B	P43	P152
4 観光資源保全事業費	産業振興課	観光施設の適正な維持管理、観光地の美化により観光資源の保全を図ります	39,686	26,791	B		P153
5 農業振興対策事業費	産業振興課	農業振興を推進するため農業振興地域整備計画の適正な管理や各種農業団体等へ補助等を行います	29,441	36,992	B	P39	P142
6 産業連携推進事業費	産業振興課	産業活性化を図るため、6次産業化の支援と、「ミーナの恵み」ブランドの認定及びPRを行います	484	1,475	B	P40	P144
7 漁業振興対策事業費	産業振興課	漁業生産基盤の向上や漁村・漁場環境の保全ならびに漁業経営の安定化を図ります	478,501	27,176	A	P41	P147
8							
9							
10							

※事業の推進方針は、前年度の事業評価書に基づいて記載しています。(A…拡充 B…継続 C…縮小 D…廃止)

5. 地域との協働に関する取組み状況

- 町内の起業者へ、場所の提供や、取引先等の紹介などの情報提供(事業者)。
- 起業者と連携し、新たなビジネスに挑戦する(事業者)。
- 起業者の事業や商品・サービスを紹介する情報を発信する(事業者)。
- クラウドファンディングなどを通じて起業者を応援する(個人)。

6. 町民意識調査によるニーズ等

町民意識調査モニターによる自由記述のうち具体的な要望等のみを抜粋(町民意識調査ニーズに対する回答は別の資料で公表しています)

- ①起業しようとしていますが、何やら町が突っ走って鼻頂にしている企業があるとかないとか。持続可能性は検証されたのでしょうか。農地も平地はほぼ無いので、集積にこだわらずに、町の農産品の価値をアピールした方が経済的では。町内で起業したい人は「生産人口」であり、「子育て」をするかも知れません。働きながら子育てしていける環境が整備されていない事には「起業」して成功するような人は来ません。リサーチ力がありますから。将来的に人生を豊かに過ごせるか、多角的に見ています。人口を増やしたいのなら、安心して暮らせることを証明できる受け皿を整備し、ガイドブック(Web)を作成することに予算を使う。
- ②まず働き手を確保することも重要かと思えます。仕事をしていない人を斡旋したり、人材募集を応援することを町を上げて取り組むことも大切かと思えます。

7. 管理指標 (pt) 町民意識調査による満足度

現状値 (R2)	R3		R4		R5		R6		目標値 (R6)
74	80	↗	79	↘	79	→			89

8. 評価委員会の総合評価

評価	評価に係るコメント(評価委員会で出た意見への回答は別資料で公表しています)	
R3		
■ ■ ■ ■	一部努力を要するが概ね順調	・ふるさと納税と連携した新たな商品の充実
R4		
■ ■ ■ ■	一部努力を要するが概ね順調	・学校の統廃合による出た廃校をサロンや保育所などを合体した複合施設や企業誘致等に活用してはどうか ・起業支援などを行っている自治体へ視察してはどうか
R5		
		評価対象外
R6		

基本施策 2-6 価値ある産業を残す事業承継支援

1. 現状と課題

今後、後継者不在のため廃業する事業者の増加が懸念されるため、事業を承継する後継者を確保し、価値ある既存産業が受け継がれていく必要があります。

2. 目指すべき将来像

本町の経済を支える事業者の事業が円滑に引き継がれることで、地域に必要な製品・サービスが将来も供給され、雇用の場が確保されることを目指します。
さらに、地方での就業や移住を望むUIJターン人材が事業を引き継ぎ、当該事業が発展することで人材をさらに惹きつける好循環の醸成を目指します。

3. 将来像の実現に向けて

- ・町内の小規模事業者のイメージが向上するよう情報発信等に取り組みます。
- ・後継者・新規就業者獲得に向けた情報発信、空き家等を利用した住居支援、町内の事業者等の元で行う体験・研修により、後継者・新規就業者の発掘や育成を支援します。
- ・移住等希望者と事業者を繋ぐ機会の創出や移住希望者に伝わりやすい情報発信、事業者・承継希望者のニーズに即した支援策を検討します。

4. 主な予算事業

事業名	部署名	事業概要	R4決算 (千円)	R5予算 (千円)	推進 方針※	実施 計画	事業 評価書
1 商工業振興事業費	産業振興課	町内3商工会に助成し育成強化に努めるとともに、県の中小企業への融資制度に協調する等により、町内の中小企業の活性化と振興を図ります	36,871	30,212	A		P150
2 観光振興事業費	産業振興課	町観光協会と協力して、観光宣伝等を実施することにより、積極的に観光振興を推進します	43,463	41,039	B	P43	P152
3 観光資源保全事業費	産業振興課	観光施設の適正な維持管理、観光地の美化により観光資源の保全を図ります	39,686	26,791	B		P153
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							

※事業の推進方針は、前年度の事業評価書に基づいて記載しています。(A…拡充 B…継続 C…縮小 D…廃止)

5. 地域との協働に関する取組み状況

- 町内事業者の事業や商品を紹介する情報を発信する(事業者)。
- 異業種間の交流・連携の場を作るなど、合併・買収をサポートする(事業者)。

6. 町民意識調査によるニーズ等



町民意識調査モニターによる自由記述のうち具体的な要望等のみを抜粋(町民意識調査ニーズに対する回答は別の資料で公表しています)

- ①受け継ぐべき事業は洗い出されているのか。洗い出されているのであれば、M&Aを町が仲介してもいいのではないか。そこに大して予算は割れない。
- ②不漁渦の水産業及び地場産業の様子を見る限り発展は厳しいと思う。
- ③基本施策2-3、2-6で提案。商工会を合併しろ。
- ④後継者難や人手不足は町を上げて調査して町外から人を呼び込むことに努力するのは大事。

7. 管理指標 (pt) 町民意識調査による満足度

現状値(R2)	R3		R4		R5		R6		目標値(R6)
77	74	↘	78	↗	74	↘			93

8. 評価委員会の総合評価

評価	評価に係るコメント(評価委員会が出た意見への回答は別資料で公表しています)	
R3		
 一部努力を要するが概ね順調	<ul style="list-style-type: none"> ・町全体が活気づくような事業が必要 ・やる気のある人とのマッチングできる仕組みが必要 	
R4		
	評価対象外	
R5		
 概ね順調	<ul style="list-style-type: none"> ・町がいろいろな施策を行っていることは知ってるが、結果が出ていないと感じる ・商工会の承認案件でも廃業が多い 	
R6		

基本施策 2-7 働く環境づくり

1. 現状と課題

本町の産業を持続可能なものとするため、次のような環境整備が必要となっています。

- ・人手不足の深刻化に対応するための、多様な人材が活躍できる職場環境整備
- ・農業用施設、漁業用施設等のインフラの老朽化対策
- ・産業の高度化を進めるための通信網の整備

2. 目指すべき将来像

町内で事業を営む事業者の生産活動や物流等が円滑に行われ、効率的に事業を営むことができる、インフラの整備・維持を目指します。
女性や高齢者、外国人等、誰もが働き続け多様性を発揮し、付加価値の高い仕事ができる、町内の事業所等の職場環境の整備を目指します。

3. 将来像の実現に向けて

- ・南知多町で女性や高齢者、外国籍町民、障がい者等、誰もが個々の能力を発揮できるよう就労を応援します。
- ・子育てしながら仕事がしやすい環境など、事業所等のワークライフバランス(仕事と生活の調和)への理解を促進するとともに、環境整備への取り組みが求職者に伝わるよう情報発信を支援します。
- ・役場が率先して子育てと仕事を両立できる職場環境の整備に取り組むことで、南知多町全体の職場環境改善への機運を醸成します。
- ・技能実習生等の外国籍町民が地域にとけこみ、安心して働くことができるよう支援します。

4. 主な予算事業

事業名	部署名	事業概要	R4決算 (千円)	R5予算 (千円)	推進 方針※	実施 計画	事業 評価書
1 職員福利厚生費	総務課	職員健康診断、産業医面接指導など職員の福利厚生に係る事務事業を実施します	1,724	2,158	B		P78
2 人事関係費	総務課	会計年度任用職員に係る各種保険、町長交際費、職員採用などの事務事業を実施します	22,153	33,792	A		P79
3 労働環境対策事業費	産業振興課	労働環境の改善支援、雇用の促進、勤労者の住宅難の緩和を図るため、労働行政の円滑な運営に努めます	3,352	3,453	B		P139
4 農業用施設維持管理費	建設課	農道、水路、ため池など老朽化の著しい農業用施設の維持修繕や農地の保全及び農業生産基盤整備を実施します	11,788	12,729	A		P126
5 漁港施設維持管理費	建設課	町管理漁港(大井、日間賀、山海、豊丘)の緊急・小規模な施設維持修繕等を実施します	5,397	5,590	A	P37	P128
6 漁港建設事業費(公共)	建設課	漁港施設の長寿命化を図りつつ、大規模地震・津波に備えて、災害に強い施設整備及び漁業従事者の労働環境改善を図るための施設整備を実施します	0	21,500			
7 漁港改良整備事業費	建設課	漁港施設及び海岸保全施設の安全利用や機能維持のため、施設の維持補修や護岸改良等を実施します	27,785	14,956	A		P129
8							
9							
10							

※事業の推進方針は、前年度の事業評価書に基づいて記載しています。(A…拡充 B…継続 C…縮小 D…廃止)

5. 地域との協働に関する取組み状況

○技術の進歩についていくための学びを続ける(個人)。
 ○女性や高齢者、外国籍住民、障がい者など多様なひとが働くための、それぞれの環境に合わせた働き方や時間帯を工夫する(事業者)。

6. 町民意識調査によるニーズ等

町民意識調査モニターによる自由記述のうち具体的な要望等のみを抜粋(町民意識調査ニーズに対する回答は別の資料で公表しています)

- ①環境が悪く、町内の労働者が敬遠するような場所で外国人労働者が働き、企業によって待遇もピンキリ。
- ②インフラ整備こそ、町内雇用を産む。
- ③衰退していることに資金を使うより。今はもうすぐ起きる大地震津波に備えて高台の施設整備、防災グッズ、備蓄食料などに予算を重点的に早急に準備してほしい。
- ④まずは町の職員のデジタル化と効率を良くしていくこと、何回もその課でどうすればいいのかミーティングを重ねて改革をお願いしたいです。
- ⑤少子高齢化が進み、工場や農家、介護施設の運営により多くの人手を必要としている日本にとって、外国人労働者の方々に来てもらって働いていただくことが今後さらに必要になってくると思う。彼らに気持ちよく南知多で働いていただくことや、地域と協働していくことも大切だと考える。南知多はこれについてどのような取組みを考えているか。

7. 管理指標 (pt) 町民意識調査による満足度

現状値 (R2)	R3		R4		R5		R6		目標値 (R6)
81	82	↗	75	↘	76	↗			95

8. 評価委員会の総合評価

評価		評価に係るコメント(評価委員会で出た意見への回答は別資料で公表しています)
R3		<ul style="list-style-type: none"> ・前年踏襲の予算編成 ・もっと支援の充実をしてほしい(テレワーク等) ・役場における女性管理職の割合 ・役場から職場環境改善行動を
■ ■ ■	概ね順調	
R4		評価対象外
R5		<ul style="list-style-type: none"> ・ストレスチェックは、産業医面談につなげるのではなく、その先の回復や休職によるほかの職員への圧迫などへの対応、組織作りなどを評価軸とすべきではないか ・農業用施設、補修とあわせて老朽をモニタリングする施設を実施して長寿命化できるといい
■ ■	一部努力を要するが概ね順調	
R6		

基本施策 3-1 まちと命を守る防災

1. 現状と課題

本町は、南海トラフ地震津波避難対策特別強化地域に指定されるなど、大規模地震による被害が危惧されており、災害発生時のライフラインや建物の安全性の確保、孤立化防止対策、集中豪雨や台風による災害の防災対策、各種災害発生に対する防災対策の充実が課題となっています。

2. 目指すべき将来像

建物やインフラが必要な災害耐性を有し、消防・防災施設等が有効に機能し、事業者や町民が災害対応に取り組むことで、安心して生活し事業を営み、いざ発災した際には一人でも多くの命が守られること、早期の復旧、復興を目指します。

3. 将来像の実現に向けて

- ・情報収集・伝達体制の強化や、防災訓練等により、町の防災力向上に取り組みます。また、必要な消防・防災施設等を維持していきます。
- ・災害時の緊急物資等輸送のため、道路、橋梁、漁港、港湾等の耐震化を進めます。
- ・公共施設の耐震化を進め、住宅等の耐震化を支援するとともに、避難路の整備を進めます。
- ・自主防災活動の支援、要配慮者対策、防災教育等により、地域防災力を強化します。
- ・発災後、本町が早期に復旧、復興が行えるよう対策を進めます。

4. 主な予算事業

事業名	部署名	事業概要	R4決算 (千円)	R5予算 (千円)	推進 方針※	実施 計画	事業 評価書
1 住宅耐震改修費	建設課	旧建築基準の木造住宅について、耐震対策を推進します	86	3,072	B	P55	P137
2 消防施設等維持管理費	防災危機管理室	消防詰所・車庫及び消防自動車等の消防施設等の維持、管理に努めます	13,661	12,099	B		P99
3 防災対策事業費	防災危機管理室	町民等を災害から守るため、警備・訓練・研修の実施、防災設備の維持管理を行います	20,146	24,716	A		P103
4 災害対策事業費	防災危機管理室	非常食の備蓄、避難所備品の購入及び自主防災組織に対する支援を行います	8,979	10,952	A	P48	P104
5 県営ため池整備事業費	建設課	災害に強いまちづくりを推進するため、老朽化したため池の整備を実施します	13,713	7,660			
6 急傾斜地崩壊対策事業費	建設課	人命の安全を守るため、県が実施する急傾斜地崩壊対策事業に対し負担金を支出します	6,937	7,000			
7							
8							
9							
10							

※事業の推進方針は、前年度の事業評価書に基づいて記載しています。(A…拡充 B…継続 C…縮小 D…廃止)

5. 地域との協働に関する取組み状況

- 事業継続計画(BCP)を策定、従業員の消防団活動に協力する(事業者)。
- 住宅の耐震化、家具の固定、火災報知機の取り付け、非常用備蓄、避難・消火訓練への参加など、日ごろから備える(個人)。
- 災害避難カードや防災カルテを家庭で作成する(個人)。

6. 町民意識調査によるニーズ等



町民意識調査モニターによる自由記述のうち具体的な要望等のみを抜粋(町民意識調査ニーズに対する回答は別の資料で公表しています)

- ①自主防災組織に任せすぎです。学校や職場から動けない人たちが置いてけぼりになるので、各事業所に防災倉庫と発災時の訓練を呼びかけ、一人ひとりが対応できるよう意識向上に予算を。助かって凌ぐのはほぼ自動なので、啓発に力をいれたい。
- ②以前のアンケートでも伝えましたが、ライブカメラの設置は観光と防災の両面で効果があると思います。内海海水浴場(夕陽が写るように)、豊浜漁港(競りの様子が写るように)、師崎フェリー乗り場(出寄港の様子が写るように)など、南知多の各所に。いざ津波が起こればその惨状がリアルタイムで外部に伝わり、ボランティアや支援物資なども早期に集まると思います。
- ③井戸のある場所を調査して、水質検査や管理などに補助をし、災害時に使える井戸を増やして欲しい。
- ④ため池が多くあるが、ため池も津波を起こすことを住民に周知して、対策を講じてほしい。
- ⑤高浜の県道247(高浜一かも保育園)避難路に指定されているが、道幅が狭く、水路に蓋がなく危険である。避難道路として緊急の整備が必要。初神と豊浜信号間の水路(バス停などがるが)開口は水路が深く危険。至急の暗渠化を望む。(再掲)
- ⑥高知県黒潮町のように、日常食にしても美味しい地域の魚や野菜を使った防災缶詰は作れないでしょうか？水産物と農産物がコラボできる加工品の企画がもっと必要だし、不安な非常時こそ、コンビニのおにぎりやパンではなく、南知多のものが食べられたらほっとします。災害時には甘いものが求められますが、甘味缶詰は種類が少ないためネットでも大人気です。いちじくや柑橘類やピワや苺を使ってスフレケーキや羊羹なども缶詰化できたら、需要があると思いますし、ふるさと納税の返礼品にもぴったりだと思います。
- ⑦学校の防災は念入りに。

7. 管理指標(pt) 町民意識調査による満足度

現状値(R2)	R3		R4		R5		R6		目標値(R6)
85	87	↗	86	↘	86	→			95

8. 評価委員会の総合評価

評価	評価に係るコメント(評価委員会が出た意見への回答は別資料で公表しています)
R3	
 概ね順調	<ul style="list-style-type: none"> ・防災意識が低い、HPの周知は高齢者には不十分、広報等も月に1回しかないため周知が課題 ・防災訓練が年に1回は必要、町から区へ強い要望を
R4	
 概ね順調	<ul style="list-style-type: none"> ・ハザードマップについて、基準水位の解説も入れて小学生でもわかる内容にしてほしい ・各地区の防災倉庫が見た目でわからない。場所と中身についての教えてほしい ・防災に関する動画をYouTubeで公開するなど、新しい参加の在り方を考えるといい
R5	
	評価対象外
R6	

基本施策 3-2 つながりを活かした交通安全と防犯

1. 現状と課題

本町における交通事故発生件数は、半田警察署管内※で最も少なくなっています。しかし、公共交通が充実しておらず、主な移動手段が自動車であるため、高齢者による交通事故の割合が高くなっています。防犯については、犯罪者が一番嫌がるのは地域の連帯と信頼感であり、近所づきあいが活発で地域コミュニティがしっかりしているまちは、犯罪に強いとされています。本町では半田警察署管内で最も犯罪発生件数が少なくなっており、町民同士のつながりが残っていることがその一因と考えられる一方、犯罪の少なさゆえに、防犯意識が低くなっているという課題もあります。

※ 1市5町(半田市、阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町)

2. 目指すべき将来像

交通安全と防犯について、町民の意識の向上や地域ぐるみの活動の推進などを図り、引き続き交通事故と犯罪の少ない安全なまちを目指します。

3. 将来像の実現に向けて

- ・町、警察、その他関係団体が連携した、啓発活動を実施します。
- ・各種媒体を活用した、交通安全と防犯に関する広報活動に取り組みます。
- ・地域行事等の多くの方が連れ立って参加する機会を捉え、効果的な啓発を実施します。

4. 主な予算事業

事業名	部署名	事業概要	R4決算 (千円)	R5予算 (千円)	推進 方針※	実施 計画	事業 評価書
1 交通安全推進費	防災危機管理室	交通安全意識の高揚を目的に、交通安全の広報、啓発活動及び交通弱者の交通安全教育など、交通安全の推進活動を実施します	813	1,341	B		P90
2 交通安全施設整備費	防災危機管理室	交通安全施設(防護柵、区画線、カーブミラー等)の新設工事等を実施します	3,014	2,420	B		P91
3 交通安全施設維持管理費	防災危機管理室	交通安全施設及び駐輪場の維持管理を実施します	2,006	3,335	A		P92
4 交通指導員設置費	防災危機管理室	町民の交通安全意識の高揚と正しい交通安全ルールの習慣化を促進するため交通指導員を設置します	3,690	4,016	B		P93
5 防犯対策費	防災危機管理室	犯罪防止のため、防犯運動の推進、防犯連絡責任者の委嘱、防犯灯の設置促進、安全なまちづくり及び暴力追放活動の推進に努めます	2,202	2,265	B		P94
6							
7							
8							
9							
10							

※事業の推進方針は、前年度の事業評価書に基づいて記載しています。(A…拡充 B…継続 C…縮小 D…廃止)

5. 地域との協働に関する取組み状況

- ご近所同士の声掛けや会話など、ご近所づきあいを大切にする(個人)。
- 外出時の施錠、空き巣被害予防(家の周りに脚立等を置かない等)、放火・火災予防(家の周りに燃えやすいものを置かない等)など、防犯に気を付ける(個人)。
- 自動ブレーキ搭載の自動車に乗るなど、事故防止に努める(個人・事業者)。

6. 町民意識調査によるニーズ等


町民意識調査モニターによる自由記述のうち具体的な要望等のみを抜粋(町民意識調査ニーズに対する回答は別の資料で公表しています)

- ①高齢者の交通安全教室開催を。道路の真ん中を歩いたり、ふらふら走ったり危険です。誤って轢いた側も悲惨です。
- ②空き巣が多いので、町内に防犯カメラ多数設置のお願いを。
- ③漁業、農業者へ盗難防止のため防犯カメラ安価なタミーでいいので補助。開バ道路での自転車は何度も危険な場面を見ているためサイクリング禁止必須。
- ④まずは車の通行量も少なくなって来てるので早く自動運転車を解禁させる取り組みが必要かと思います。

7. 管理指標 (pt) 町民意識調査による満足度

現状値 (R2)	R3		R4		R5		R6		目標値 (R6)
90	85	↘	88	↗	84	↘			95

8. 評価委員会の総合評価

評価	評価に係るコメント(評価委員会で出た意見への回答は別資料で公表しています)
R3	 概ね順調 ・防犯カメラがついていることをアピールする ・小回りの利くバスを充実したら免許を返納する人が増え、交通事故が減るのでは
R4	
R5	評価対象外
R6	評価対象外

基本施策 3-3 資源を活かす土地利用

1. 現状と課題

三方を海に囲まれた本町は、各地域の特性に合わせた市街地形成、地域産業がありますが、若年層の人口の流出が続き、単身高齢世帯の割合が年々増加していることから、空き家が急速に増加しており対策が必要となっています。人口減少や空き家、空き地の増加に歯止めをかけるためにも、地域の特性を活かした土地利用が課題となっています。

2. 目指すべき将来像

本町の豊かな自然環境を保全しつつ、町民の生活を支える機能の維持、集約を図るため、土地や建物の効率的な活用と、産業の振興に繋がる適切な土地利用を目指します。

3. 将来像の実現に向けて

- ・管理不全な状態にある空き家については、所有者に対して適切な管理を求めていきます。
- ・土地・建物所有者への啓発や、空き家の利活用の提案、相続相談等の支援に取り組みます。
- ・快適な住環境を維持するとともに、住居と産業を適正に配置するための土地利用や、コンパクトで災害等にも適応したまちづくりについて、実行可能な将来目標を検討します。

4. 主な予算事業

事業名	部署名	事業概要	R4決算 (千円)	R5予算 (千円)	推進 方針※	実施 計画	事業 評価書
1 空き家等対策事業費	成長戦略室	空き家等対策計画に基づき地域住民に悪影響を及ぼす空き家等への対策と空き家等及びその跡地の利活用を促進します	18,526	8,172	C	P52	P123
2 管財事務費	企画財政課	公有財産(土地)の管理等に係る事務事業を実施します	271	343	A		P116
3 都市計画一般管理費	建設課	都市計画法及び建築基準法に基づき都市計画事務を実施します	7,717	6,900	B		P134
4 農業委員会活動費	産業振興課	農業委員会定例会を開催するとともに、委員による現地調査及び研修を実施します	2,782	3,218	B		P140
5 まちづくり推進事業費	成長戦略室	地域のまちづくり協議会(7団体)の情報共有と連携及び情報発信のため、南知多町まちづくり協議会を運営するとともに、移住者に選ばれるまち、移住定住者が積極的な参加・交流のできるまちづくりを進めます	11,090	5,857	B	P51	P122
6							
7							
8							
9							
10							

※事業の推進方針は、前年度の事業評価書に基づいて記載しています。(A…拡充 B…継続 C…縮小 D…廃止)

5. 地域との協働に関する取組み状況

- 自身の土地・建物を正しく登記したり、常に使える・提供したりできるように管理する。
- 登記・相続などのアドバイス、建物を良好な状態に維持するためのリフォームなどを積極的に展開する(事業者)。

6. 町民意識調査によるニーズ等

町民意識調査モニターによる自由記述のうち具体的な要望等のみを抜粋(町民意識調査ニーズに対する回答は別の資料で公表しています)

- ①今親が持っている3階建ての空き家にも耐震補強の補助金が出せれるようにしてもらえたらありがたい。他所からの漁師希望者のために賃貸にしたいと考えているため。
- ②持ち主不明が確認できた廃屋や土地は整えて公共施設設置や売却ができると良いのですが。
- ③町外から働きたくてくる人も住む所をいつも困ってます。町外からの人も住みやすく貸家物件をもっと増やして移住を促すことも大事だと思います。
- ④公園や空き家後の活用(南知多町公共施設等総合管理計画パブリックコメントで提案)
- ⑤今後10年で空き家は確実に急増していくと思う。無償でも引き取り手のない土地、家屋も多く有り、解体費用も高額である。空き家になったら放置しない、放置したリスクを伝える必要がある。
- ⑥空家の持ち主は、きちんと納税しているのだろうか？そもそも持ち主の居場所はわかっているのだろうか？持ち主のわからない土地や建物が、町の資産(プラスの)になる対策ができると良いと思います。
- ⑦空き家になる前からの対策が必要と思う。
- ⑧町内会、祭り、消防などが意外にも大きな原因だと思います。要改善。
- ⑨何をしても、町を出ないと解決できないから、人口流失しかたない。買い物、塾、警察署、駅等すべてが不便すぎるから、無理だと思う。
- ⑩固定資産の維持がとても負担です。

7. 管理指標 (pt) 町民意識調査による満足度

現状値(R2)	R3		R4		R5		R6		目標値(R6)
74	77	↗	80	↗	70	↘			89

8. 評価委員会の総合評価

評価	評価に係るコメント(評価委員会で出た意見への回答は別資料で公表しています)	
R3		
■ ■ 一部努力を要するが概ね順調	<ul style="list-style-type: none"> ・移住者が増えグローバル化が進むと若干怖い、今いる人が減らないことが一番良い ・空き家バンクは行政書士等と連携をとってスムーズにいくように 	
R4		
	評価対象外	
R5		
■ ■ 一部努力を要するが概ね順調	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家の登録件数が少ないので、それがもっと増やせるといいと思う ・成約済みの物件をHPに乗せた方が、人気があることが目に見えて良い ・物件を建築特化の大学、現場でリフォーム等を学んでいる学生、学校に提供して好きなようにやらせてみたらどうか 	
R6		

基本施策 3-4 安心な暮らしを支えるインフラ

1. 現状と課題

道路、港、水道などは、暮らしや経済に欠かせないインフラであると同時に、道路や港、海岸は、本町の緑や海などの景色を楽しむことができる観光資源でもあります。一方で、インフラの老朽化対応や安全を確保するための管理、公共交通の維持等が課題となっています。

2. 目指すべき将来像

安心して町民が住み続け、観光客等が訪れ、事業者が活動を続けるための、生活と地域経済の基盤として、安全なインフラや公共交通を守っていくことを目指します。

3. 将来像の実現に向けて

・道路については、幹線町道の再整備、生活道路の維持修繕、安全な歩行空間の確保など、快適で安全な道路環境の整備を進めます。
 ・港湾・漁港・海岸・公園・町営住宅・駐車場については、老朽化した施設の点検、補修、改修等を行うとともに、全庁的な再配置方針等の必要性の検討を進めます。
 上水道については、耐震性の向上を図るとともに、効率的な経営に努めます。

4. 主な予算事業

事業名	部署名	事業概要	R4決算 (千円)	R5予算 (千円)	推進 方針※	実施 計画	事業 評価書
1 土木施設維持管理費	建設課	小規模な土木施設の修繕、倒木処理、樹木の伐採及び道路の路肩・法面の草刈りを実施します	35,925	31,140	A	P38	P130
2 道路橋りょう維持補修事業費	建設課	安全で快適な住環境整備のため、道路橋りょうの維持補修を実施します	28,257	105,624	A	P54	P131
3 河川維持補修事業費	建設課	大雨時等の浸水や氾濫を防止するため、河川の未整備箇所や老朽箇所の改修を実施します	4,329	5,000	B		P132
4 港湾施設維持管理費	建設課	町管理港湾の施設維持・修繕等を実施します	5,152	8,612	A		P133
5 住宅維持管理費	建設課	町営住宅の修繕・保守点検等の維持管理を実施します	509	680	A		P136
6 公園維持管理費	建設課	遊具の修繕や樹木の剪定など都市計画公園の適正な管理を実施します	9,168	12,607	A		P135
7 漁業集落排水事業会計	水道課	処理場等の適切な維持管理及びポンプ施設等の整備・更新に努めます	85,036	201,121	B		P157
8 水道事業会計	水道課	施設の適切な維持管理及び管路の耐震化に努めます	909,131	957,043	B	P56	P158
9							
10							

※事業の推進方針は、前年度の事業評価書に基づいて記載しています。(A…拡充 B…継続 C…縮小 D…廃止)

5. 地域との協働に関する取組み状況

- 道路・港湾などの異常や危険個所を発見したら、町役場や管理者に通報する。
 - 道路沿いの樹木の剪定など、インフラ施設に隣接する所有土地・建物を管理する。
 - 道路の補修など、軽微なインフラ整備をする。
- (上記すべて、個人・事業者)。

6. 町民意識調査によるニーズ等

町民意識調査モニターによる自由記述のうち具体的な要望等のみを抜粋(町民意識調査ニーズに対する回答は別の資料で公表しています)

①町の予算では到底足りませんね。国や県に働きかけて大きな所から整えて下さい。見た目は大事です。

7. 管理指標 (pt) 町民意識調査による満足度

現状値 (R2)	R3		R4		R5		R6		目標値 (R6)
88	84	↘	82	↘	82	→			95

8. 評価委員会の総合評価

評価	評価に係るコメント(評価委員会で出た意見への回答は別資料で公表しています)	
R3	<ul style="list-style-type: none"> ・どれも大切なので力をいれてほしい 	
<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;">■ ■</div> <div>一部努力を要するが概ね順調</div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・国へ財源の要望を ・役場への通報窓口の一本化 ・中学生の通学道路整備 ・講演の管理についてはランク付けして示してほしい 	
R4	<ul style="list-style-type: none"> ・道路整備について国や県討の子育て支援の補助メニューを活用できないか ・民有地を公有地認定して整備する国の制度を活用してはどうか ・道路整備は観光、農業分野とも協力して対応してほしい 	
R5	評価対象外	
R6		

基本施策 3-5 暮らしを支える地域公共交通

1. 現状と課題

町内を移動する公共交通は路線バスのほか、島民の通勤・通学には定期航路が利用されています。通勤・通学や高齢者の移動手段として不可欠な、バス・航路の維持、利便性の向上が課題となっています。

2. 目指すべき将来像

鉄道、バス及び海上交通等の利便性の向上と利用促進を図り、生活に不可欠な移動手段が十分に確保されることで、町民が住み続けたいと思えるまちづくりを目指します。

3. 将来像の実現に向けて

- ・自動車を運転できない高齢者の増加や、潜在利用者のニーズの変化に合わせ、運行ルートや時間帯、バス停留所等を見直していきます。
- ・駐車場など、利用者の利便性に大きく影響する周辺環境の改善に取り組みます。
- ・自動運転などの先進技術の導入、環境に配慮した車両等の導入、地域による公共交通、路線の再編等について、財政負担を抑えつつ、町民や観光客の需要に応じた移動手段を確保・充実する方法を検討します。

4. 主な予算事業

事業名	部署名	事業概要	R4決算 (千円)	R5予算 (千円)	推進 方針※	実施 計画	事業 評価書
1 交通安全推進費	防災危機管理室	交通安全意識の高揚を目的に、交通安全の広報、啓発活動及び交通弱者の交通安全教育など、交通安全の推進活動を実施します	813	1,341	B		P90
2 離島振興費	成長戦略室	国や県と連携し、篠島・日間賀島住民の生活の安定と福祉の向上を目的に離島振興を図ります	17,666	21,681	B	P50	P121
3 公共交通対策事業費	成長戦略室	南知多町地域公共交通計画に基づき、町民の日常生活を支え、来訪者に選ばれるシームレスで便利な公共交通を目指します	110,366	113,933	A	P53	P124
4 小学校一般管理費	学校教育課	小学校施設の適切な維持管理に努めます	82,509	69,569	B	P27	P212
5							
6							
7							
8							
9							
10							

※事業の推進方針は、前年度の事業評価書に基づいて記載しています。(A…拡充 B…継続 C…縮小 D…廃止)

5. 地域との協働に関する取組み状況

- 公共交通機関を積極的に利用する。(個人)
- 運転手等の担い手がやりがいを持って働けるよう、感謝の気持ちやねぎらいなどを伝える(個人)。
- バス停周辺の除草、清掃を行う。(個人・事業者)。

6. 町民意識調査によるニーズ等



町民意識調査モニターによる自由記述のうち具体的な要望等のみを抜粋(町民意識調査ニーズに対する回答は別の資料で公表しています)

- ①通学時間帯のバスを増やすか少しだけ早めてもらえると阿久比高校へ通う人もバスで通えるのに、と言う話を聞きました。通勤通学の時間のバスの時間を少し融通していただけたらと思います。
- ②海っ子バスの支払いに一般的な電子マネーの導入を。
- ③新中学校。人口の多い内海の子供たちをわざわざ豊浜までスクールバスで送迎するのは収支で結果的に無駄なのでは？
- ④娘が高校の通学で河和駅までバスを利用しています。電車との連結が悪くて、駅で1時間以上待つことも結構あるようです。せめて待ち時間を30～45分位までに改善してくれるとありがたいです。この状況だと子供が高校に進学するタイミングで南知多町から出て行ってしまいう家庭も増えていくのではと思います。改善する見込みがないなら我が家もこれからは考えてしまいます。
- ⑤移動手段といえば車ですが知多半島道路は生活道路なので町民は無料ではなくてはなりません。これも流出の大きな原因です。
- ⑥地域バスは小型にして本数を増やして。
- ⑦地方の交通手段や高齢ドライバー対策はカーシェアリングや自動運転車が有効だと思います。その時期になったら即座に対応することが良いかと思います。
- ⑧運転免許返上の時の為、うみっこバス体験をしたいと思う。海っこバス住民説明会などに参加し、住民の使いやすい海っこバスを創っていきたい。
- ⑨海っ子バスの充実を願う。
- ⑩路線バス(海っこ)の充実。バス停の安全性の確保、停留所の椅子や雨除け。夏場の海水浴客の利便性の確保、混雑時期の駅での臨時案内(パートかボランティアなど)。バス停の変更。安全上も極めて危険な個所に有るものの変更。特に、豊浜一内海間の西海岸線、防波堤そばの停留場の変更。(退避難場所がない)
- ⑪交通の不便差が元々あるにも関わらず、最近また更に名鉄の会社の理由により廃止やら縮小やら、天候でもすぐに船を欠航にされてしまう。島民にとっては船は生活の一部であり、無くてはならないもの！船料金の割引も何故1人何枚と決められてるのか？島民の船割引は切符を購入の際に割引をして頂きたい。割引配布の際、取りに行く行かない、貰っても使用しない不平等がでる。なので、購入の際に割引の形にして頂きたい。
- ⑫通学バスのバス内放置や、学童の送りで児童が1人になるとき等(1人しか学童へ行かない時など、女の子だと心配)、安心して任せられる運転手なのか心配。

7. 管理指標(pt) 町民意識調査による満足度

現状値(R2)	R3		R4		R5		R6		目標値(R6)
76	77	↗	81	↗	80	↘			91

8. 評価委員会の総合評価

評価	評価に係るコメント(評価委員会で出た意見への回答は別資料で公表しています)
R3	<ul style="list-style-type: none"> ・バスの小型化による経費削減や船の便数を増やすなど利用者の増加を促進する ・今後高齢者が増えることが予想されるため、バス停の数を増やすなど利便性の向上を図ってほしい ・歩道の整備や草刈りなども行い、安全な観光地とする
 一部努力を要するが概ね順調	
R4	評価対象外
R5	<ul style="list-style-type: none"> ・商店が少なくなってきたので、高齢者は買い物に不便になってきているので、日頃の買い物ができるような対策が必要 ・料金改定をして単価は高くなっても、回数券を使えば安くなることを町民に伝える努力をしてもらった方がよい
 一部努力を要するが概ね順調	
R6	

基本施策 3-6 多様性を認め、共に支え合うコミュニティ

1. 現状と課題

本町では町民や地域のつながり、助け合いが残っている一方で、若者の町外への流出により地域活動の中心が高齢者となっており、活動の担い手の確保、地域と移住者等の交流の促進など、新たな課題が生まれています。

2. 目指すべき将来像

少子高齢化、核家族化、若者・高齢者の単独世帯化が進み、人々の価値観やライフスタイルも多様化している中、町民それぞれの価値観などを認めた上で、ボランティア活動や町民の自主的なまちづくり活動、男女共同参画、国際交流活動の充実など、世代等の背景を超えたふれあいの機会が充実し、将来にわたり支え合い、助け合いが残っていくまちづくりを目指します。

3. 将来像の実現に向けて

- ・町民や各種団体によるまちづくり事業を支援し、既存団体の合併や世代交代、移住者の地域参画、男女共同参画等を促すための各種情報提供等に努めます。
- ・地域課題の解決や将来的な移住に向けた裾野を拡大するため、「関係人口」の確保に取り組みます。
- ・若者や女性、また近年認識されつつある多様な性も含め誰もが個々の能力に応じて活躍できる場が広がるよう、支援や情報発信に取り組めます。
- ・登下校や授業等の教育の場、生涯学習講座等で、子どもと高齢者など、世代間交流の機会の充実を図ります。
- ・外国籍町民もコミュニティに溶け込み、多様な文化が共生していくための、情報提供、相互理解の場の提供を進めます。

4. 主な予算事業

事業名	部署名	事業概要	R4決算 (千円)	R5予算 (千円)	推進 方針※	実施 計画	事業 評価書
1 自治振興費	総務課	区の活動を助成し、各地区の振興と地域行政の充実に寄与するよう努めます	25,413	25,441	B		P85
2 まちづくり推進事業費	成長戦略室	地域のまちづくり協議会(7団体)の情報共有と連携及び情報発信のため、南知多町まちづくり協議会を運営するとともに、移住者に選ばれるまち、移住定住者が積極的な参加・交流のできるまちづくりを進めます	11,090	5,857	B	P51	P122
3 人権行政相談事務費	住民福祉課	人権擁護委員及び行政相談委員による相談並びに啓発活動を行います	104	130	B		P160
4 一般企画費	企画財政課	住民との協働により、姉妹都市等交流、総合計画、公共施設再配置計画、男女共同参画、広域行政、国際交流等に係る事務事業を推進します	10,878	11,089	B	P49	P118
5							
6							
7							
8							
9							
10							

※事業の推進方針は、前年度の事業評価書に基づいて記載しています。(A…拡充 B…継続 C…縮小 D…廃止)

5. 地域との協働に関する取組み状況

- 広報誌などで案内のあるボランティアやまちづくり行事などに参加する。(個人)
- 買い物や通院などに困ったご近所の方の手助けをする。(個人)
- 積極的に挨拶や会話をする。(個人)
- 移住者の意見を積極的に聞き、地域行事に参加しやすくなるように対応する。(地域)

6. 町民意識調査によるニーズ等

町民意識調査モニターによる自由記述のうち具体的な要望等のみを抜粋(町民意識調査ニーズに対する回答は別の資料で公表しています)

- ①自助共助に頼りすぎていて、人口減の中、区長に取りまとめをお願いするのは大きな負担。助け合うことすらままならないコミュニティの崩壊。定期的に巡回する組織を整備して欲しい。
- ②助け合いはこれから増々重要になってくると感じますが、地域活動がうざく流出する人も多いのは事実なのでそんなやつは知らんでは解決しないと思います。
- ③町づくり推進事業では、最近豊浜の桜公園が整備され、マスコミなどにも報道され観光客が多数来場(町)した。予算などは不明だが、道路からの案内板や施設の整備など、他の公園も町全体での取り組みが推進されれば、活性化が期待できる。またこの間、公共施設の再配置計画が進められているが、つぎ前に将来計画を示し、それに近づけていくための再配置として住民の意見を求めていく計画が必要と考える。

7. 管理指標(pt) 町民意識調査による満足度

現状値(R2)	R3		R4		R5		R6		目標値(R6)
84	79	↘	86	↗	82	↘			95

8. 評価委員会の総合評価

評価	評価に係るコメント(評価委員会で出た意見への回答は別資料で公表しています)	
R3		
■ ■ 一部努力を要するが概ね順調	<ul style="list-style-type: none"> ・今後空き家が増えていくため宣伝や登録に力を入れていく必要がある ・南知多に住むとなった場合、そのアフターフォローが必要 	
R4	評価対象外	
R5	評価対象外	
R6		

基本施策 3-7 心と体安らぐ自然・住環境

1. 現状と課題

本町は豊かな海や緑に囲まれた魅力ある住環境が強みです。一方で、雑草・雑木による通行支障や冠水等の自然に由来する問題、狭隘な市街・道路等の改善が住環境の課題となっています。

2. 目指すべき将来像

身近な環境美化や、公園や河川、排水施設等の適切な管理、省エネルギー化等の推進により、環境に優しく、自然豊かな住環境を感じられるまちづくりを目指します。

3. 将来像の実現に向けて

- ・安全な道路や公園環境の整備、排水施設の点検・改修や河川の土砂浚渫など、良好な生活環境を実感するために重要となる対策を進めます。
- ・身近な環境美化について、町民や地域等による、自主的な除草・剪定や河川・海岸清掃等の取り組みを支援します。
- ・家庭における省資源・省エネルギー型ライフスタイルや、ごみの減量化・リサイクル等の推進を支援します。

4. 主な予算事業

事業名	部署名	事業概要	R4決算 (千円)	R5予算 (千円)	推進 方針※	実施 計画	事業 評価書
1 河川維持補修事業費	建設課	大雨時等の浸水や氾濫を防止するため、河川の未整備箇所や老朽箇所の改修を実施します	4,329	5,000	B		P132
2 環境保全対策事業費	環境課	住民と行政の協働による環境美化と地域環境の保全に努めます	20,862	38,024	B	P58	P178
3 環境衛生狂犬病対策事業費	環境課	環境衛生対策を図るため、不法投棄ごみの対策及び食用廃油の回収、狂犬病予防接種と犬の登録を実施します	857	1,146	B		P179
4 ごみ処理業務費	環境課	海岸漂着物の清掃や篠島、日間賀島のごみ処理と施設の維持管理を行います	59,550	87,750	B		P180
5 ごみ減量収集対策事業費	環境課	適切なごみの収集及びごみ減量化のため、指定ごみ袋の作成販売、エコステーションの運営をします。	18,464	28,096	B	P59	P181
6 環境緑化推進事業費	産業振興課	住民の緑化に対する認識を高め、環境緑化を推進します	4,556	9,235	B		P146
7 農業土木一般管理費	建設課	農地や農業用施設の保全と質的向上を図る地域共同の取り組みを支援します	10,759	10,871	B		P127
8 公園維持管理費	建設課	遊具の修繕や樹木の剪定など都市計画公園の適正な管理を実施します	9,168	12,607	A		P135
9							
10							

※事業の推進方針は、前年度の事業評価書に基づいて記載しています。(A…拡充 B…継続 C…縮小 D…廃止)

5. 地域との協働に関する取組み状況

- 生ごみをたい肥化する、レジ袋など使い捨てプラスチックの使用を控える、台所のごみを分別して排水を汚さないなど、日ごろから環境を意識する。
- 道路や散歩道、河川や水路など、身近な範囲の除草・ごみ拾いを行う。

6. 町民意識調査によるニーズ等


町民意識調査モニターによる自由記述のうち具体的な要望等のみを抜粋(町民意識調査ニーズに対する回答は別の資料で公表しています)

- ①せつかくの豊かな自然をもっと感じる場所、景観など環境整備ができると思う。勤労世帯にはいつでも出せるステーション必要。カメラ付きならわやしない。
- ②R247のウバメガンを切って。
- ③太陽光をめぐる乱開発など、住環境の破壊が急速に進んでいる。太陽光関係の条例化に続き、「(仮)南知多町景観計画」の策定(条例化)が予定されている。極めて重要な条例ですので、町民の意見を広く求め、検討を進めてください。
- ④南知多道路は草が生い茂って、危ないし見づらい。雑草などがあれば虫なども増えるが、環境にいいものとそうでない虫もいる為、清潔に保てないならば伐採して整えて頂きたい。電灯などもLEDに変え、暗い箇所などあったらつけて頂きたい。

7. 管理指標 (pt) 町民意識調査による満足度

現状値(R2)	R3		R4		R5		R6		目標値(R6)
82	85	↗	86	↗	89	↗			95

8. 評価委員会の総合評価

評価	評価に係るコメント(評価委員会で出た意見への回答は別資料で公表しています)
R3  概ね順調	<ul style="list-style-type: none"> ・町独自に環境通信を作成、充実 ・清掃箇所の再検討 ・放棄農地を親子農園に ・ハイキングコースを作成、看板等設置 ・ゴミ拾いや環境美化啓発看板の設置
R4	評価対象外
R5	評価対象外
R6	

基本施策 4-1 職員の成長とやりがい

1. 現状と課題

本町が持続していくための政策や事業を企画・実行していくには、人材の確保、成長、意欲、挑戦が必要となります。

2. 目指すべき将来像

町職員が継続的に学び、やりがいを持って働くことで成長し、前例にとらわれず挑戦し、活気ある職場が人材を惹きつける好循環の醸成を目指します。

3. 将来像の実現に向けて

町として求める人材像が職員に浸透するよう、人材育成等の方針を職員に継続的に伝達します。また、今後重要となる知識・技術について、習得を促すための研修を組織的・計画的に実施するとともに、職員の自己研鑽を支援します。

自己研鑽に励んでいる職員や実績を残した職員が適正に評価される人事評価制度の運用を進めます。職員のやりがいと意欲を引き出し、仕事の成果と生活の充実が好循環を生み出すため、残業の削減をはじめとした働き方改革を進めます。また、出産や育児によって女性が活躍をあきらめることのないよう、子育てと仕事を両立できる職場環境づくりを役場が率先して実現し南知多町全体に広めていくため、まず役場内の意識を変えていくとともに、町内事業所の模範となるよう、管理職に占める女性職員の割合や男女の育児休暇取得率といった指標を公表していきます。

4. 主な予算事業

事業名	部署名	事業概要	R4決算 (千円)	R5予算 (千円)	推進 方針※	実施 計画	事業 評価書
1 職員研修費	総務課	職場研修及び派遣研修を実施し、職員の職務遂行能力と資質の向上を図ります	1,077	1,344	B		P77
2 職員福利厚生費	総務課	職員健康診断、産業医面接指導など職員の福利厚生に係る事務事業を実施します	1,724	2,158	B		P78
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							

※事業の推進方針は、前年度の事業評価書に基づいて記載しています。(A…拡充 B…継続 C…縮小 D…廃止)

5. 行財政マネジメントにおける業務改善推進内容について



推進事項		推進事項の目的							
挑戦できる組織づくり		民間企業のノウハウを活用し、職員の意識改革と能力向上とともに職場環境の改善を図ることで、誰もが住民サービスの向上と財政負担の縮減に向けた新たな施策の実施に挑戦でき、職員の成長とやりがいを創出し続ける、魅力ある組織を目指します。							
推進項目	推進内容	概要	効果等	目標年度					
				R2	R3	R4	R5	R6	
①	民間活力の活用 の推進	民間活用による事業実施	事例集を作成し情報を全職員で共有及び課題や企業提案の共有	職員の情報収集能力・分析能力、企画調整能力の向上、新たな価値・市場機会の創出、各様なまちづくりの創出	△	●	●	●	→
		他自治体を参考にPPP/PFIの実施		軽減、業務の削減(人手不足解消)、新たな市場機会の創出(地域や経済の活性化)	●	●	●	●	●
②	職員の意識改革と能力向上	人事評価制度の効果的運用	人事評価制度の理解度の醸成、運用面の改善	職員の意欲向上、職員の能力向上	-	△	●	●	→
		若手・中堅・管理職員の意識改革と能力向上(R5より管理職を統合)	職員が主体的に実施する研修会の開催、マネジメントやコーチングに関する研修を実施	業務の効率化、住民サービス向上、職員の能力向上、業務の効率化	△	●	●	●	→
③	労働環境の整備	人員配置の適正化	職員のキャリアプランを活かした自己申告書制度と人事異動の負担軽減	職員の意欲向上、職員の離職防止	△	△	●	●	→
		育児・介護時の勤務形態の調整・支援	育児・介護時の柔軟な勤務形態の構築	職員の能力低下の防止、職員の離職防止	△	△	●	●	●
		時間外勤務の削減	業務の見直しや効率化により時間外勤務を縮減	人件費削減、業務の効率化、職員の健康維持	●	●	●	●	→

●…実施 △…検討 →…継続 ……未実施

6. 管理指標(pt) 職員意識調査による実感度

現状値(R2)	R3		R4		R5		R6		目標値(R6)
87	85	↘	90	↗	94	↗			95

7. 評価委員会の総合評価

評価	評価に係るコメント	
R3	 概ね順調	別紙記録書のとおり
R4		<ul style="list-style-type: none"> 官民共創事業の全国の成功事例を研究して取り入れてほしい 多面評価のニーズもあるため、実現可能な制度設定が重要 各課室によって繁忙期、閑散期があると思うので、横断的な協力体制の構築や分散化人事異動の実施は有効な手段と思う
R5	 概ね順調	<ul style="list-style-type: none"> グループ制への移行にあたって見直しが必要 職員研修のさらなる充実と成果検証が必要 職員自ら意識の向上につながる制度設定が必要
R6		

基本施策 4-2 業務の高度化、効率化

1. 現状と課題

人口減少や高齢化、インフラ等の老朽化に伴う課題が深刻化する中、限られた予算・人員で課題の解決に取り組んでいくためには、業務の高度化・効率化が求められます。

2. 目指すべき将来像

町組織の体制や業務の見直し、新たな技術やデータの活用により、業務の高度化・効率化を進め、予算・人員が限られる中でも、地域の課題解決や町民満足度の向上を目指します。

3. 将来像の実現に向けて

地域社会をとりまく環境の変化に合わせて適切に人員配置を行い、迅速に意思決定を行っていくため、組織機構の見直しを検討します。
 業務を自動化・効率化し、職員が政策企画等に注力するため、革新技术の導入やデータ連携の推進と、併せて業務の流れの見直しを検討します。
 地域課題の解決や民間のデータ活用に資するため、データの積極的な公開を進めるとともに、政策等立案や行財政運営におけるデータ活用を進めます。
 新技術等の導入に伴って発生する情報漏洩等のリスクに対応するため、適切な内部統制を構築し、職員及び関係者のセキュリティ意識の向上を図ります。

4. 主な予算事業

事業名	部署名	事業概要	R4決算 (千円)	R5予算 (千円)	推進 方針※	実施 計画	事業 評価書
1 総務一般管理費	総務課	役場の一般的行政事務に要する経費であり、円滑な運営に努めます	33,914	33,773	B		P76
2 会計一般管理費	会計課	公金の安全管理を徹底し、円滑で効率的な出納事務を推進します	2,077	2,501	A		P205
3 検査事務費	企画財政課	町の発注する工事、委託、物品等について適切な入札執行及び検査事務を実施します	2,973	3,116	B		P115
4 電算一般管理費	総務課	行政事務の情報化を推進し、事務の効率化と住民サービスの向上を目指します	121,421	106,197	A		P83
5 サービスセンター一般管理費	総務課	サービスセンター業務の円滑な運営を図り、住民サービスの向上に努めるとともに、施設を維持管理する上で必要な修繕等を実施し、施設の管理に努めます	26,247	28,033	B		P84
6 戸籍住民基本台帳一般管理費	住民福祉課	戸籍法及び住民基本台帳法等に基づき、住民に関する記録を適正に管理します	31,487	25,729	B		P161
7							
8							
9							
10							

※事業の推進方針は、前年度の事業評価書に基づいて記載しています。(A…拡充 B…継続 C…縮小 D…廃止)

5. 行財政マネジメントにおける業務改善推進内容について



推進事項		推進事項の目的						
デジタル化・DXの推進		住民ニーズは時代に伴い多様化しており、職員1人当たりの負担も増えています。そのため業務の効率化・高度化に必要なデジタル化・DXの推進を目指します。						
推進項目	推進内容	概要	効果等	目標年度				
				R2	R3	R4	R5	R6
① 政策・調整機能の強化	事業提案(グジョブ運動)の構築	職員による事業提案の推進	新たな事業の創出・既存事業の改善へつながる	△	●	→	●	→
	プロジェクト単位の横断的な業務の促進	他課の職員と協力して1つの事業を推進	広い視点から事業を推進できる(住民ニーズに対応)	-	●	●	→	→
	会議の時間・目的の明確化・効率化	制限時間の設定	時間短縮、事務効率化、参加者の満足度向上	-	△	●	●	→
② 行政のスリム化・事務の効率化	煩雑な行政手続きの解消	手続きオンライン化の拡充	住民サービス向上、業務効率向上	●	→	●	●	→
	テレワークに対応した共有体制の構築	電子決裁の導入	業務効率向上、状況に応じた柔軟な対応が可能	△	●	●	●	→
③ 行政情報のデジタル化	デジタル化による事務改善	AI-OCR、RPA等の活用	業務効率向上、人件費削減	●	→	→	△	→
	ペーパーレス化の推進	タブレットの導入	コピー代・用紙代縮減	●	●	→	△	→
	電子データ管理方法の一元化	ファイルサーバの整理	容量の抑制、文書管理適正化	△	△	●	→	→

●…実施 △…検討 →…継続 ……未実施

6. 管理指標(pt) 職員意識調査による実感度

現状値(R2)	R3		R4		R5		R6		目標値(R6)
89	92	↗	95	↗	97	↗			95

7. 評価委員会の総合評価

評価	評価に係るコメント	
R3	 概ね順調	別紙記録書のとおり
R4		<ul style="list-style-type: none"> 事業提案制度の保留事業の検討、定期的に職員提案募集の機会があるといい 電子決裁導入によりテレワークしやすい環境が整ったため、より拡充をしてほしい ペーパーレス化の実績等をもっと町民に知ってもらうこと、更なるペーパーレス化を推進してほしい
R5	 概ね順調	<ul style="list-style-type: none"> あいち電子申請システムを町民の皆さんに知ってもらい、高齢者でも利用できる環境整備
R6		

基本施策 4-3 町民の満足度向上

1. 現状と課題

人口の流出を抑制し地域社会を持続可能なものとするためには、町民が生活に満足することが必要であり、それが町外にも伝わることも重要です。

2. 目指すべき将来像

町民の満足度が向上することで、本町に住み続けたいと思う町民が増加することを目指します。また、近年ではSNS等により、住みやすさ等についての町民のイメージも容易に拡散するため、良いイメージが町外に広がることを目指します。

3. 将来像の実現に向けて

町民の不満や前向きな意見を効果的に吸い上げるため、アンケートの実施方法を工夫し、満足度の変化を追跡調査していくことを検討します。

効果的に町民満足度を高めるため、従来の政策を漫然と継続するのではなく、ターゲットとする世代等にとって重要な分野について重点的に予算、人員等の行政資源を配分していきます。

業務の効率化等により、政策立案や町民対応等、満足度向上に重要な業務に職員が注力できる環境を整えるとともに、町民対応に係る自己点検や研修に取り組みます。

4. 主な予算事業

事業名	部署名	事業概要	R4決算 (千円)	R5予算 (千円)	推進 方針※	実施 計画	事業 評価書
1 議会一般管理費	議会事務局	本会議、委員会等の円滑な議会活動の運営に努め、開かれた議会を推進するために議会だよりの発行及び会議録の公開を行います	17,673	4,049	B		P207
2 広報広聴事業費	総務課	町民の行政参画と開かれた町政を推進するため、広報広聴事業を実施します	9,958	13,640	A	P47	P80
3 一般企画費	企画財政課	住民との協働により、姉妹都市等交流、総合計画、公共施設再配置計画、男女共同参画、広域行政、国際交流等に係る事務事業を推進します	10,878	11,089	B	P49	P118
4 自治功労者表彰関係費	総務課	町表彰条例に基づき、南知多町の発展に功績のあった個人又は団体の表彰を行います	31	52	B		P86
5 選挙管理委員会費	総務課	選挙管理委員会の開催、選挙人名簿の作成を行います	228	254	B		P87
6							
7							
8							
9							
10							

※事業の推進方針は、前年度の事業評価書に基づいて記載しています。(A…拡充 B…継続 C…縮小 D…廃止)

5. 行財政マネジメントにおける業務改善推進内容について

推進事項		推進事項の目的							
公共施設・サービスの再編		公共施設の老朽化等により今後町の財政は圧迫されていき、施設の統廃合・長寿命化が必要となってきます。そのため公共施設とそれに伴うサービスの再編を推進します。							
推進項目	推進内容	概要	効果等	目標年度					
				R2	R3	R4	R5	R6	
①	公共施設等の再編	公共施設再配置計画の策定	公共施設による財政負担の軽減	△	●	●	→	●	
		学校の統廃合	小中学校の統廃合	児童・生徒数に応じた適正配置による教育の充実	●	●	●	●	
②	施策・事業の見直し	情報発信の多様化	HP・SNSによる行政情報の発信	広く、早い情報の収集が可能	●	→	→	●	
		窓口業務の見直し	オンライン申請の拡充、住民票等のコンビニ交付の導入検討	行政のスリム化と住民の利便性向上	-	●	→	●	
								△	
③	住民のための体制づくり	庁内組織の再編	機構改革による担当業務の再編 職員定数の適正管理	住民窓口の明瞭化 業務の効率化 財政負担軽減	△	●	△	●	
		まちづくりへの住民参画の促進	総合計画評価制度の導入	住民サービスの向上	△	●	→	→	

●…実施 △…検討 →…継続 ……未実施

6. 管理指標 (pt) 職員意識調査による実感度

現状値 (R2)	R3		R4		R5		R6		目標値 (R6)
84	90	↗	89	↘	92	↗			95

7. 評価委員会の総合評価

評価	評価に係るコメント
R3	別紙記録書のとおり
ii 一部努力を要するが概ね順調	
R4	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設の利用について、廃止となった施設の有効活用をしていって欲しい 情報発信ツールを分析し、効果的な情報発信をお願いしたい 職員の適正管理について、職員の働き方、職員のワークライフバランスの点だけではなく、住民サービスの需要と供給のバランスをみて検討してほしい
ii 一部努力を要するが概ね順調	
R5	<ul style="list-style-type: none"> 実証実験WEBライターでのnoteの記事は、他の様々な手段で町外の方にも記事の発信を
iii 概ね順調	
R6	

基本施策 4-4 持続可能な行財政運営

1. 現状と課題

人口減少・高齢化や厳しい財政状況が深刻化する中でも、本町の行財政を持続可能なものとしていくため、今から備えていく必要があります。

2. 目指すべき将来像

将来にわたり持続可能な財政を維持し、かつ必要な行政サービスも維持していくための財務体質の構築を目指します。

3. 将来像の実現に向けて

インフラ、建物等の公共施設について、人口・財政の長期的な見通しに基づき、重要なものは維持しつつ、人口規模等に応じた適切な水準への再編を進めます。また、将来の維持管理費を削減するための長寿命化等の対策を進めます。

現在、町が直営で実施しているサービスについて、コスト削減やサービスの向上、より効率的な業務が期待できる場合は、民間活用を検討します。

各種補助金等に加え、企業版ふるさと納税等の新たな手法も含め、必要に応じ可能な限り有利な資金調達方法を検討します。

本町の自然、コミュニティ、人材等、地域の資源を活かして、各分野の政策・事業を展開します。

4. 主な予算事業

事業名	部署名	事業概要	R4決算 (千円)	R5予算 (千円)	推進 方針※	実施 計画	事業 評価書
1 財産一般管理費	総務課	公用車の維持管理及び公共施設の建物保険料等に要する経費であり、円滑な運営に努めます	11,681	17,597	B		P81
2 庁舎等維持管理費	総務課	庁舎を維持管理する上で必要な工事・保守点検等を実施し、施設の管理に努めます	22,034	20,278	B		P82
3 町民税賦課事務費	税務課	町民税の適正な課税を行うため、申告相談等の賦課事務を実施します	3,973	9,621	B		P108
4 固定資産税賦課事務費	税務課	土地、家屋、償却資産に基づく固定資産税の適正な課税を行います	23,739	14,119	B		P109
5 諸税賦課事務費	税務課	諸税(法人町民税・軽自動車税・町たばこ税・入湯税)の適正な課税を行います	610	619	B		P110
6 町税徴収費	税務課	町税の納期内納付を推進します	14,776	3,652	A		P111
7 財政一般管理費	企画財政課	予算・決算等の財政事務を実施します	146	70	B		P113
8 ふるさと納税事業費	成長戦略室	ふるさと納税制度の普及と産業振興の相乗効果により財源の確保をします	135,391	240,931	A	P36	P114
9 管財事務費	企画財政課	公有財産(土地)の管理等に係る事務事業を実施します	271	343	A		P116
10							

※事業の推進方針は、前年度の事業評価書に基づいて記載しています。(A…拡充 B…継続 C…縮小 D…廃止)

5. 行財政マネジメントにおける業務改善推進内容について




推進事項		推進事項の目的						
持続可能な財政基盤の構築		人口減少等により本町の歳入は今後減少を続け、現状のままでは運営できなくなります。財政状況を正確に把握し、持続可能な財政基盤を構築するための取り組みを進めます。						
推進項目	推進内容	概要	効果等	目標年度				
				R2	R3	R4	R5	R6
① 歳出の抑制	適切な規模の予算管理	枠予算による歳出制限、及び適切な執行管理	財政負担の軽減	●	→	→	→	→
	財政・コストの意識改革	財政・コスト意識の研修会開催	職員のコスト意識の向上	●	→	→	→	→
	補助金の見直し	町民公益活動等補助金の見直し	財政負担の軽減	△	△	→	△	→
② 歳入の確保・充実	ふるさと納税寄附の確保	安定的な顧客を確保する商品の選定	財政運営の安定化	●	→	→	●	→
	新たな歳入の創出	広告・ネーミングライツ、公有財産の貸付等の推進	財政運営の安定化	△	△	△	→	→
	町有財産の処分	低未利用の公共施設等や処分可能な財産の売却	財政負担の軽減	-	△	●	→	→
③ 効果的・効率的な行財政運営	公共施設保有量の適正化	適正保有量の算出、及び維持管理・更新に係る費用の算出	財政負担の軽減	△	●	●	→	→
	企業版ふるさと納税の奨励	企業版ふるさと納税の活用方法等の検討	財政運営の安定化	-	●	→	→	→
	新公共経営若手政策研究チーム	持続可能な地域づくりのために、諸課題に的確に対応した政策研究・提言	効果的・効率的な行財政運営と人材育成	-	-	-	●	→

●…実施 △…検討 →…継続 ……未実施

6. 管理指標 (pt) 職員意識調査による実感度

現状値 (R2)	R3		R4		R5		R6		目標値 (R6)
84	92	↗	94	↗	97	↗			95

7. 評価委員会の総合評価

評価	評価に係るコメント
R3  概ね順調	別紙記録書のとおり
R4  概ね順調	<ul style="list-style-type: none"> ・町有財産の処分は、専門部署を作っても確実に整理していくことも必要 ・ふるさと納税で、募集サイトの作成をレクチャーしてもらえる機会があるといい ・歳出の抑制も重要だが、職員の効率化を下げているかについても考えることも必要
R5  一部努力を要するが概ね順調	<ul style="list-style-type: none"> ・現実にあるインフラをどう利用していくのか、ぜひ情報発信を進めて情報を必要とする方々にいきわたるよう環境整備していただきたい ・移住希望者を受け入れる環境整備が必要 ・南知多町のブランド力が伸びればふるさと納税も伸ばせる
R6	